

IDWR

2026 年第 39 週(9月 21 日～9月 27 日)

静岡県

Infectious Diseases Weekly Report Shizuoka

感染症週報

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に
基づく感染症発生動向調査より

作成 静岡県健康福祉部感染症対策課／静岡県環境衛生科学研究所

(2026 年 10 月 2 日公開)

インフルエンザは注意報レベル目前です(第39週7.44)

2026年第35週(8/24～30)の感染症発生動向調査で、静岡県内のインフルエンザの定点当たり患者数が1.35人に増加し、流行開始の目安である1を上回り、流行期となりました。記録が残る2002年以降、これまでの最も早い流行入りは、第34週(2009年と2023年)です。第35週での流行入りは、それに次ぐ早さです。

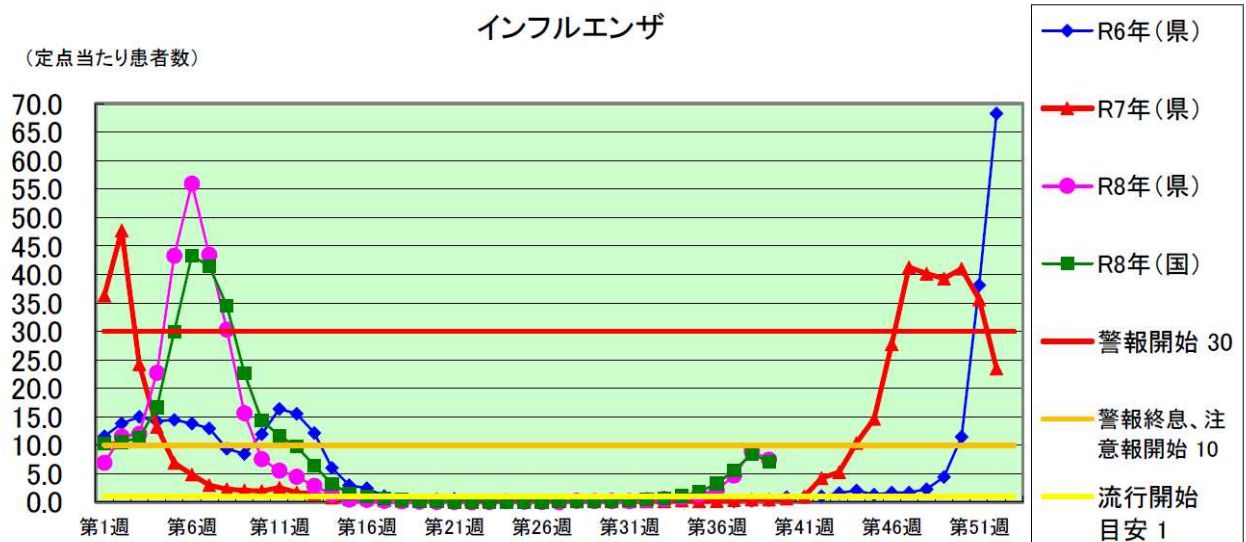
例年は11月中旬から12月頃に流行入りし、流行入りから、4～7週程度で注意報レベルとなることが多くなっています。

第35週に1.35人になった後、第36週(8/31～9/6)2.06人、第37週(9/7～13)4.70人と患者数が増加しており、第38週(9/14～20)は8.94人と急増し、注意報レベルの10人に近づいています。

今後、さらに流行が拡大すること考えられますので、咳エチケットや換気、手洗いといった感染拡大防止対策に御協力をお願いします。また、医療機関でワクチン接種が順次開始されていますので、接種の検討をお願いします。

※インフルエンザの定点当たり患者数とは、県内の内科・小児科定点医療機関から報告された1週間の患者数を機関数で割った数値です(県内の内科・小児科定点医療機関数：2026年第13週までは139、2026年第14週からは112、2026年第18週からは108)。

※流行開始の目安とされている定点当たり患者数は1、注意報レベルは10、警報レベルの開始は30、警報レベルの終息は10です。



RSウイルス感染症の発生が流行しています(第39週 1.18)

RSウイルス感染症には、国が定める注意報や警報の基準値はありませんが、静岡県では、定点医療機関当たり1週間の報告数が0.5で「流行が始まる可能性あり」、1以上で「流行期に入っている」と考えています。

静岡県内のRSウイルス感染症の定点医療機関当たり1週間の報告数は、昨年10月下旬以来、約10か月ぶりに定点医療機関あたり1人を超え、増加が加速しています。なお、県内の患者の年齢は、約80%が2歳以下です。

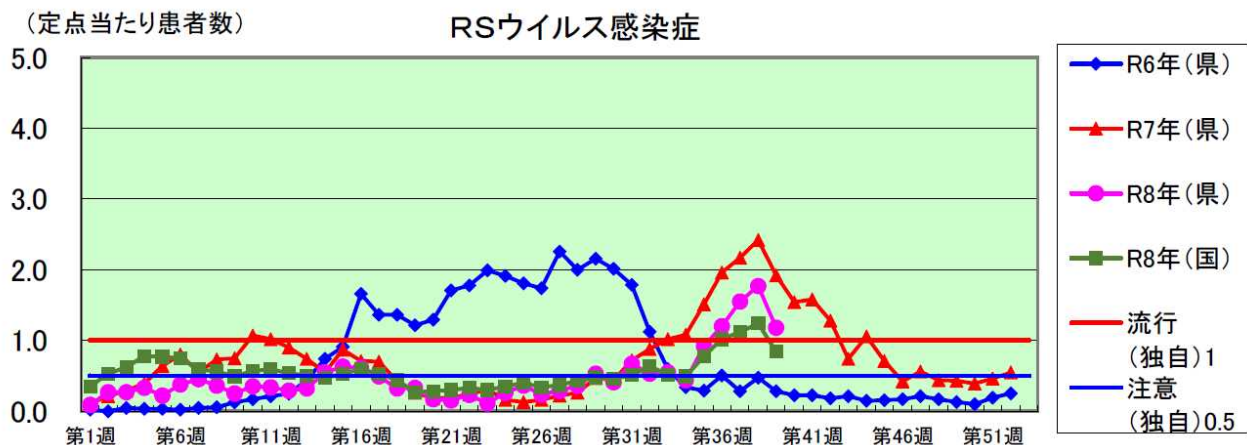
RSウイルス感染症は、飛沫感染(咳、くしゃみの飛び散り)や接触感染(鼻水や痰、だ液等を触る)でうつります。うつってから発症するまでの潜伏期間は約5日、人にうつす感染期間は発症後約1週間です。

症状は、発熱、咳、鼻水、喘鳴(ゼーゼー、ひゅーひゅーの呼吸)です。年長児や成人では、軽いかぜ症状ですむ場合も多いですが、乳児早期(特に2か月以下の赤ちゃん)に感染した場合は、急性細気管支炎や肺炎となり、哺乳低下や呼吸困難で入院したり、さらには人工呼吸管理を要したりすることもあります(感染した乳幼児の約30人に1人は入院するという報告もあります)。

RSウイルス感染症専用の有効な治療法はなく、水分補給の点滴や酸素投与などの対症療法のみです。赤ちゃんがいる家庭では、かぜ症状のある方から赤ちゃんにうつさないようにマスク着用や手洗いを励行してください。赤ちゃんが、咳鼻水やゼーゼーで、ミルクの飲む量が減ってきたら、早めに小児科医院を受診しましょう。

この感染症の詳しい説明は、国立健康危機管理研究機構(JIHS)の感染症情報提供サイトを御覧ください。

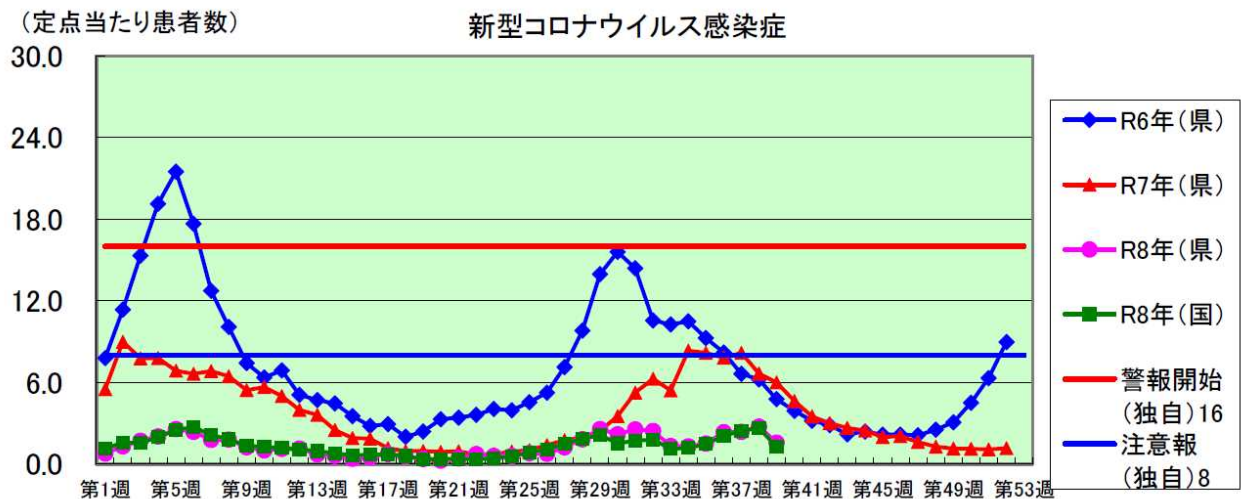
<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/alphabet/rs/010/rs-intro.html>



新型コロナウイルス感染症は若干増加しています(第 39週 1.57)

2026年第21週(5/18～5/24)から定点あたり患者数の増加傾向が続き、昨年と似た推移をたどっていました。しかし、第 32 週(8/3～9)から、患者数は減少傾向でしたが、第35週(8/24～8/30)から再度若干増加しています。

現在、感染拡大注意報基準である定点あたり8人を下回っていますが、県民の皆様には、引き続き、他の感染症の発生動向も御確認いただき、必要に応じて咳エチケットや換気、手洗いといった感染拡大防止対策に御協力をお願いします。



手足口病の警報レベルは終息しています(第39週0.18)

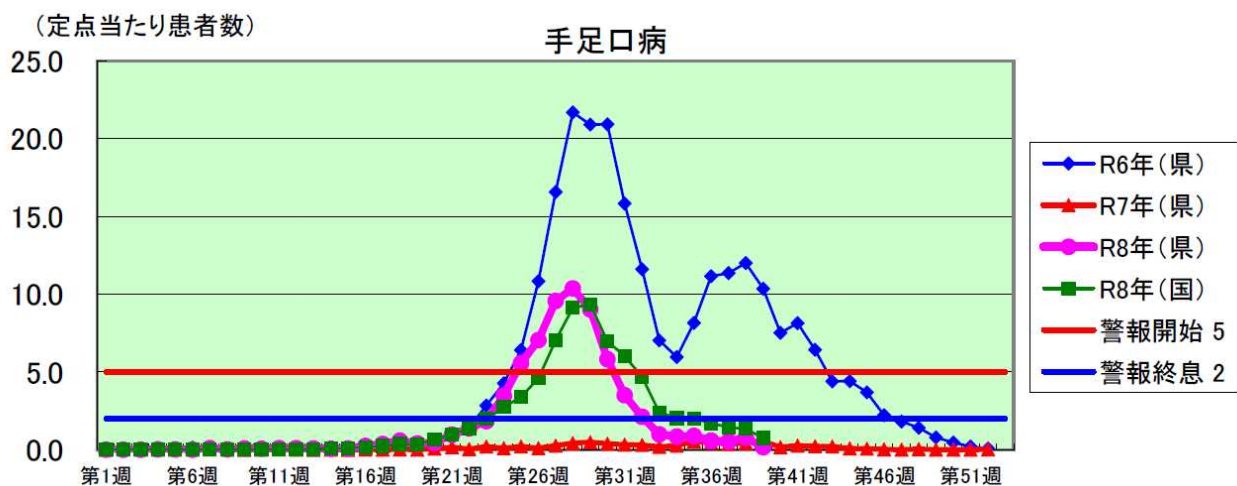
2026年第25週(6/15～6/21)の定点当たり患者数は、5.56となり、警報レベルの基準値の5を超えました。2026年第33週(8/10～8/16)の定点当たり患者数は、1.00に減少し、警報終息基準値の2を下回りました。警報レベルの期間は8週間(6/15～8/9)でした。

前回、警報レベルとなったのは、2024年第25週(6/17～6/23)(定点当たり患者数6.40)で第46週(11/11～11/17)まで警報レベルが継続しました。過去の傾向では、7月頃にピークとなり、9月頃に終息しています。年齢別の患者割合は5歳以下の未就学児が90%以上で、2歳以下が約80%以上です。

手足口病は口の中、手のひら、足の裏や甲などに水疱性発しんが現われ、発熱(38℃程度)する病気です。咳やくしゃみによる飛沫感染、だ液(つば、よだれ)、鼻水、便、つぶれた水疱から出てきた液からの接触感染がありますので、手洗いを徹底するとともに、排泄物を適切に処理することが大切です。※ウイルスの便への排出は、治癒後も3～4週間続きます。

乳幼児は口内に病変がある場合には、飲食に痛みを伴い、食欲不振となることがあります。口の中の水疱に当たっても痛みが少ない薄味で軟らかい食事にしたり、少量ずつ分けて食べる等、水分補給、栄養補給に努めましょう。それでも水分が摂れず、尿の回数や量が減ってきたときや、高熱や嘔吐でぐったりしたり、頭痛が強いときは、医療機関を受診してください。また、受診に迷った際は、静岡こども救急電話相談(#8000)を御利用ください。

※警報レベルの開始は定点当たり患者数は5、警報レベルの終息は2です。



百日咳の流行は収まってきています(第 39 週 2 人)

2025 年第 28 週(7/7～14)は 84 人となり、全数把握感染症となった 2018 年以降の最高値を更新しました。(それまでの過去最高値は、2025 年第 26 週(6/23～29) 80 人です。)。2025 年末から、減少傾向にあり、流行が収まってきました。

2026 年第 11 週(3/9～3/15)からは 0～2 人となっています。(第 39 週(東部 1 人、浜松市 1 人)。

コンコンという咳が連発してよる眠りにくい場合には、マスク可能な方は着用して、早めに受診しましょう。

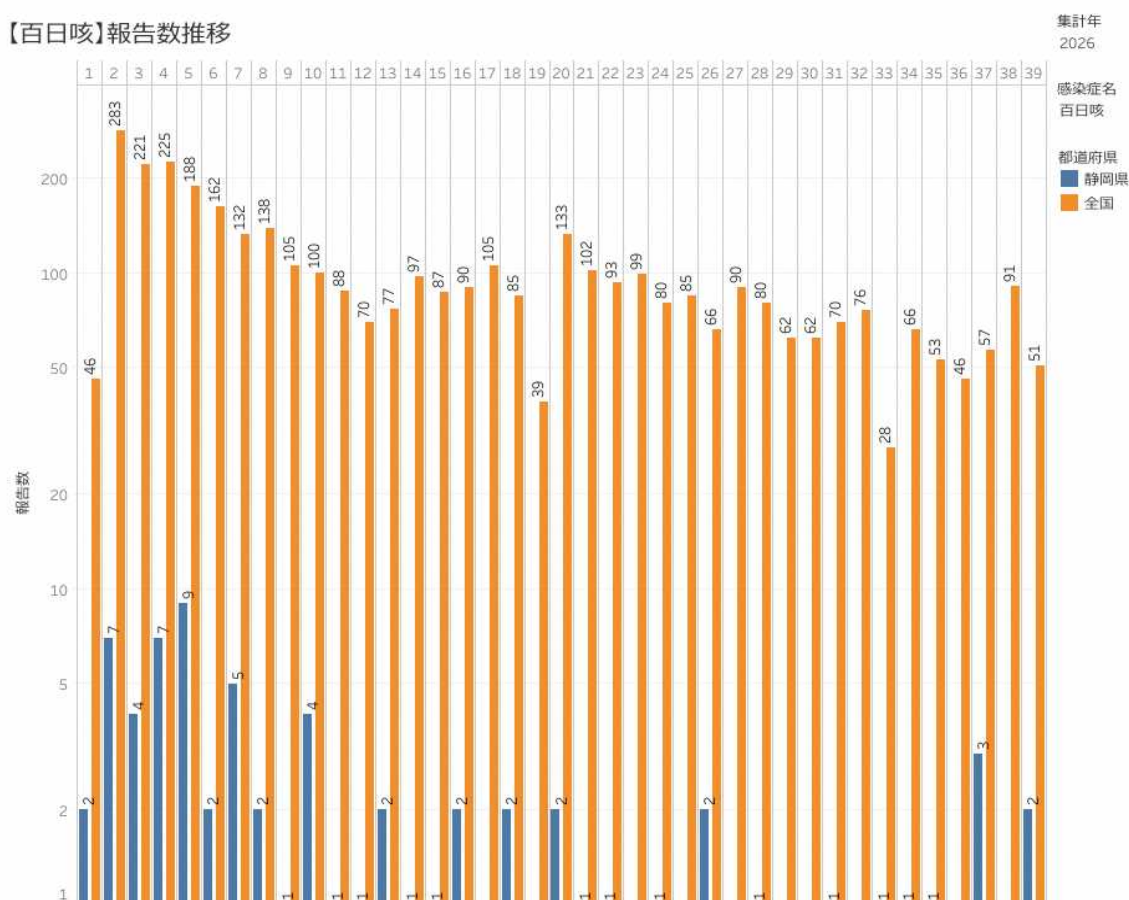
年齢分布では 10～14 歳が最多で、続いて 5～9 歳が多くなっています。百日咳を含むワクチンをまだ打っていない赤ちゃんがいる家庭で、兄弟が咳症状がある場合には赤ちゃんに近づかないようにしてください。

なお、生後 6 か月以下の赤ちゃんが百日咳にかかると呼吸がしにくくなるなど重症になる場合がありますので、2 か月になったらすぐに 5 種混合ワクチン(百日咳ワクチンを含んでいます)を接種しましょう。また、咳のひどい人は赤ちゃんの世話を避けることも大切です。

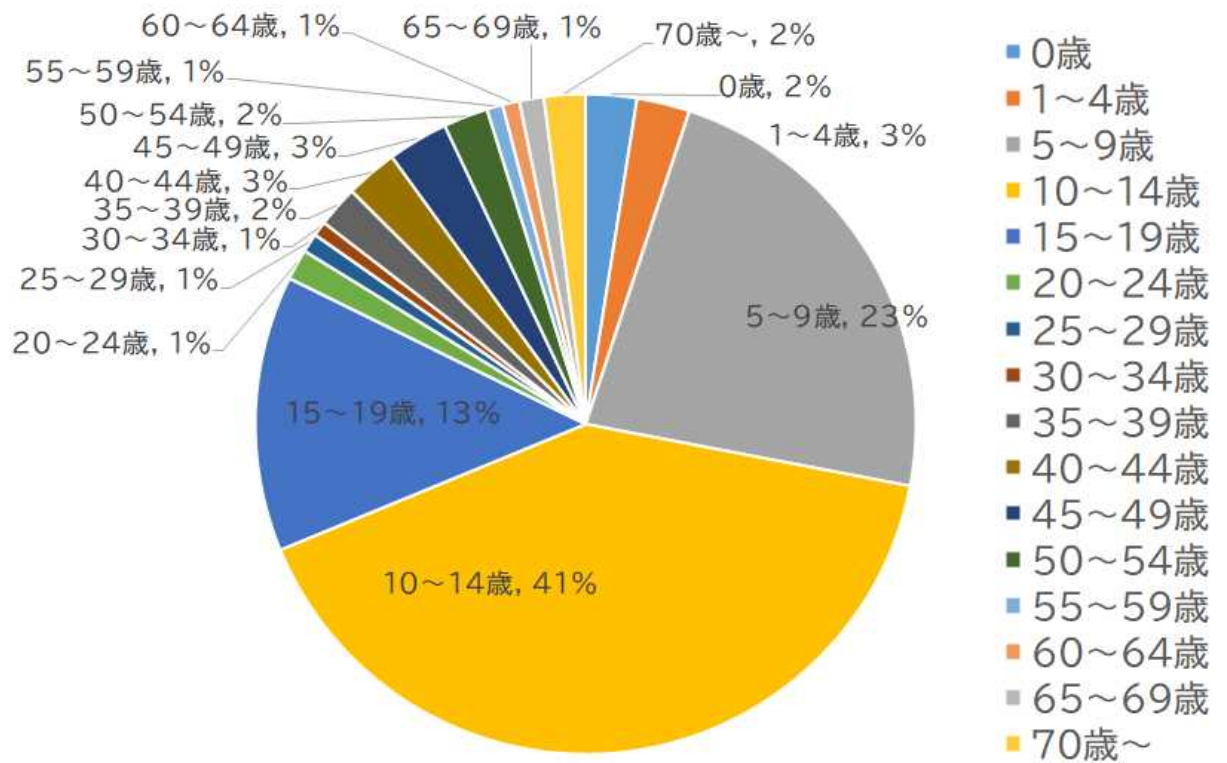
この感染症の詳しい説明は、国立健康危機管理研究機構(JIHS)の感染症情報提供サイトを御覧ください。

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ha/pertussis/010/>

【百日咳】報告数推移



年齢分布(2025年～2026年 累計1,925人)



◆全数届出の感染症

感染症分類	感染症名	保健所名	報告数
2 類感染症	結核	富士	1
		西部	2
		浜松市	2
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	富士	1
4 類感染症	レジオネラ症	熱海	1
		東部	1
		静岡市	1
		中部	1
5 類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	浜松市	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	静岡市	1
	梅毒	東部	1
		静岡市	1
		中部	1
		浜松市	1
	百日咳	東部	1
		浜松市	1

保健所別の警報状況

警 報 ヘルパンギーナ(富士)

注意報 インフルエンザ(東部、御殿場)

警報・注意報・流行期入りの目安(新型コロナウイルス感染症以外)

区分	説明
警報レベル	大きな流行が発生または継続しつつあると疑われる
注意報レベル	流行の発生前:今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高い 流行の発生後:流行が継続していると疑われる
流行入りの目安 (インフルエンザのみ)	定点医療機関あたり患者数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられる

※1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-
感染性胃腸炎	20.0	12.0	-
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	-
伝染性紅斑	2.0	1.0	-
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

警報・注意報の目安(新型コロナウイルス感染症)

新型コロナウイルス感染症の警報・注意報の基準値は、静岡県が独自に設定しています。注意報レベルは、1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり200人以上となった水準を保健所ごとに設定し、感染者が急増するおそれがある状況を指します。警報レベルは、人口10万人当たり400人以上となった水準を設定し、感染者の増加が続き、医療のひっ迫のおそれがある状況を指します。国が基準値を設定するまでの間、暫定的にこの基準値に基づき注意喚起します。

新型コロナウイルス感染症(県独自)		
保健所名	注意報基準値	警報基準値
賀茂	13.0	26.0
熱海	9.0	18.0
東部	8.0	16.0
御殿場	17.0	34.0
富士	11.0	22.0
県東部地域	10.0	20.0
静岡市	6.0	12.0
中部	8.0	16.0
県中部地域	7.0	14.0
西部	10.0	20.0
浜松市	7.0	14.0
県西部地域	8.0	16.0
県全体	8.0	16.0

感染症発生動向調査

令和8年第39週(9/21～9/27)の動向

警報・注意報・流行期入りの目安

警報・注意報のねらいは、感染症発生動向調査における定点把握感染症のうち、公衆衛生上その流行現象の早期把握が必要な疾病について、流行の原因究明や拡大阻止対策などを講ずるための資料として、都道府県衛生主幹部局や保健所など第一線の衛生行政機関の専門家に向け、データの何らかの流行現象がみられることを、一定の科学的根拠に基づいて迅速に注意喚起することにあります。

ほとんどの感染症では、時間の経過とともに流行が地域的に拡大あるいは移動していくことから、流行拡大を早期に探知するためには、小区域での流行状況を広域的に監視することが重要と考えられます。

「警報レベル」は、大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを示します。

「注意報レベル」は、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

「警報レベル」は、1週間の定点当たり報告数がある基準値（開始基準値）以上で開始し、別の基準値（終息基準値）未滿で終息します。

「注意報レベル」は1週間の定点当たり報告数がある基準値以上の場合です。警報・注意報レベルの基準値は、これまでの感染症発生動向調査データから、下記の通り定められています。

インフルエンザには、「流行期入りの目安」として、「1」があります。

1週間の定点医療機関あたり報告数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられます。ただし、あくまでも目安であり、1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

【五類感染症(定点把握)の追加:急性呼吸器感染症(ARI)】

将来的なパンデミックに備え、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等、すでに感染症発生動向調査の対象疾病となっている感染症以外が原因となる急性呼吸器感染症の発生傾向や発生水準を把握する目的で、急性呼吸器感染症(ARI)が、五類定点把握感染症に追加されることとなりました。(令和6年11月29日 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則改正 令和7年4月7日施行)

令和7年第15週から急性呼吸器感染症(ARI)も報告の対象となっています。

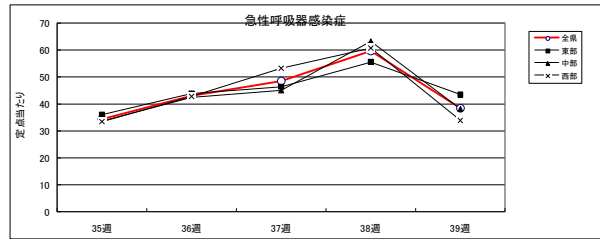
疾病	警報レベル		注意報レベル 基準値
	開始基準値	終息基準値	
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—
感染性胃腸炎	20.0	12.0	—
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	—
伝染性紅斑	2.0	1.0	—
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

【今週のコメント】

第39週(9/21～9/27)の感染症発生動向調査では、急性呼吸器感染症(ARI)は、38.44人となり前週の59.64人から減少しました。インフルエンザは、7.44人となり前週の8.94から減少しました。ヘルパンギーナは、1.47人となり前週の3.12人から減少しました。新型コロナは、1.57人となり前週の2.76人から減少しました。感染性胃腸炎は、1.33人となり前週の1.89人から減少しました。

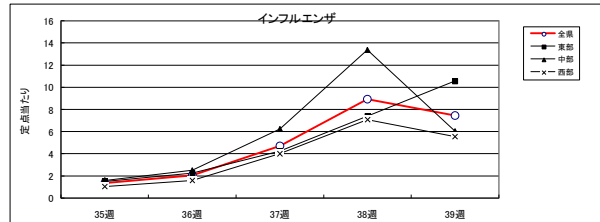
【急性呼吸器感染症】

全県で罹患数4,151、定点当たり38.44の患者発生があり、前週の59.64から減少した。定点当たり東部地区で43.47、中部地区で38.17、西部地区で33.85の患者が発生した。



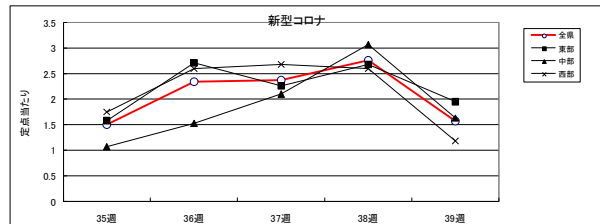
【インフルエンザ】

全県で罹患数804、定点当たり7.44の患者発生があり、前週の8.94から減少した。定点当たり東部地区で10.56、中部地区で6.03、西部地区で5.55患者が発生した。



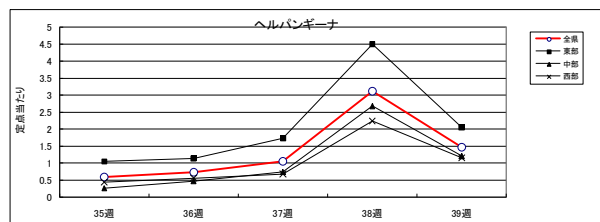
【新型コロナ】

全県で罹患数170、定点当たり1.57の患者発生があり、前週の2.76から減少した。定点当たり東部地区で1.96、中部地区で1.63、西部地区で1.18の患者が発生した。



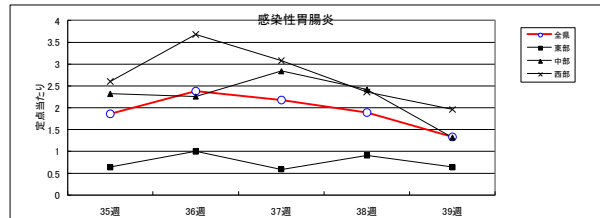
【ヘルパンギーナ】

全県で罹患数97、定点当たり1.47の患者発生があり、前週の3.12から減少した。定点当たり東部地区で2.05、中部地区で1.21、西部地区で1.16の患者が発生した。



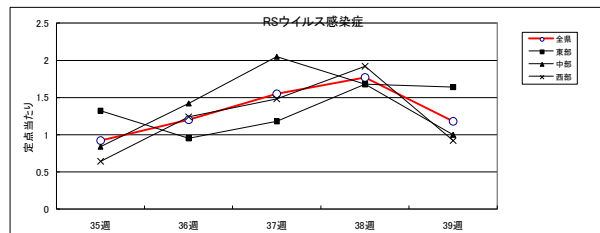
【感染性胃腸炎】

全県で罹患数88、定点当たり1.33の患者発生があり、前週の1.89から減少した。定点当たり東部地区で0.64、中部地区で1.32、西部地区で1.96の患者が発生した。



【RSウイルス感染症】

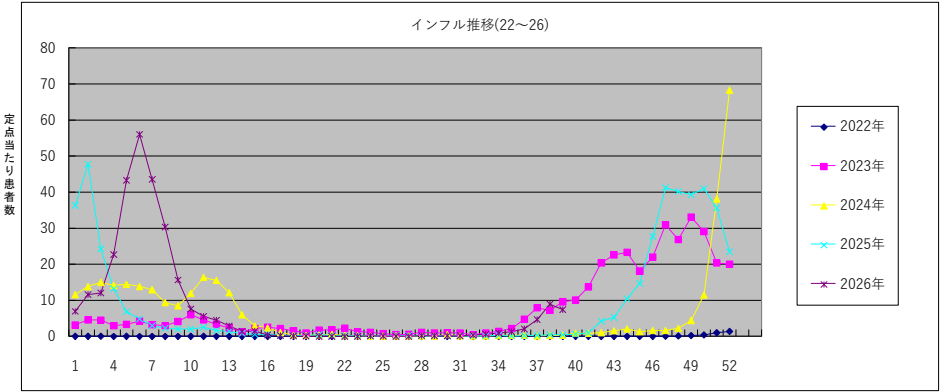
全県で罹患数78、定点当たり1.18の患者発生があり、前週の1.77から減少した。定点当たり東部地区で1.64、中部地区で1.00、西部地区で0.92の患者が発生した。



【その他】

- ・麻疹、風疹は患者発生なし。
- ・全国のインフルエンザの定点当たりの患者報告数は7.17であり、前週の8.48から減少した。警報レベルを有する都道府県は6、注意報レベルの保健所を有する都道府県は23であった。
- ・全国の新型コロナの定点当たりの患者報告数は1.25で前週の2.65から減少した。
- ・静岡県において第39週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1)急性呼吸器感染症(38.44)、2)インフルエンザ(7.44)、3)新型コロナ(1.57)、4)ヘルパンギーナ(1.47)、5)感染性胃腸炎(1.33)、6)RSウイルス感染症(1.18)であった。

【インフルエンザ罹患数推移】

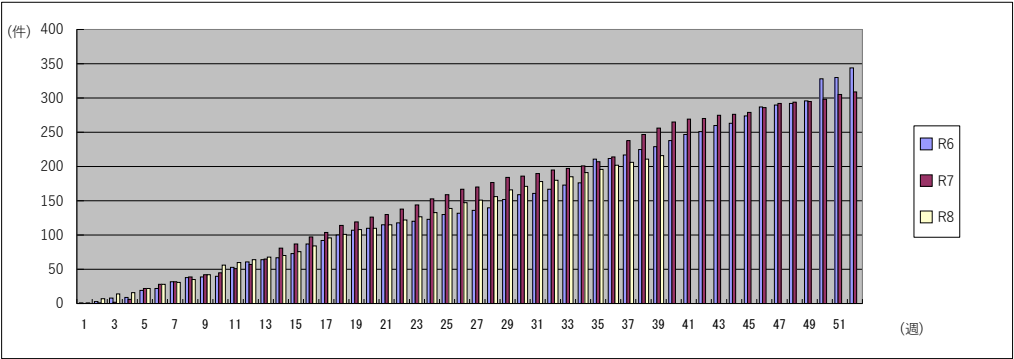


【県内衛生研究所におけるインフルエンザウイルス検出状況(2026/2027シーズン)】 (令和8年第36週～)

週	型	A/H1	A/H3	B/山形	B/Victoria
		pdm09		系統	系統
R8年 第36週	静岡県				
	静岡市				
	浜松市				
R8年 第37週	静岡県	5			
	静岡市	3			
	浜松市	2			
R8年 第38週	静岡県	2			
	静岡市	0			
	浜松市	1			
R8年 第39週	静岡県	0			
	静岡市	1			
	浜松市	0			
合 計		14	0	0	0

【梅毒の発生状況(静岡県・累計)】

・第39週までの累計は216件で、前年同期比0.84倍であった。



急性呼吸器感染症（ARI）について

急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスは、症例定義に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。

平時から、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、県民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症が5類感染症となりました。

症例定義

咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ異常の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

詳細データは下記URL先を参照してください

（感染症発生状況見える化ダッシュボード）

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003065/1065883/1073975.html>



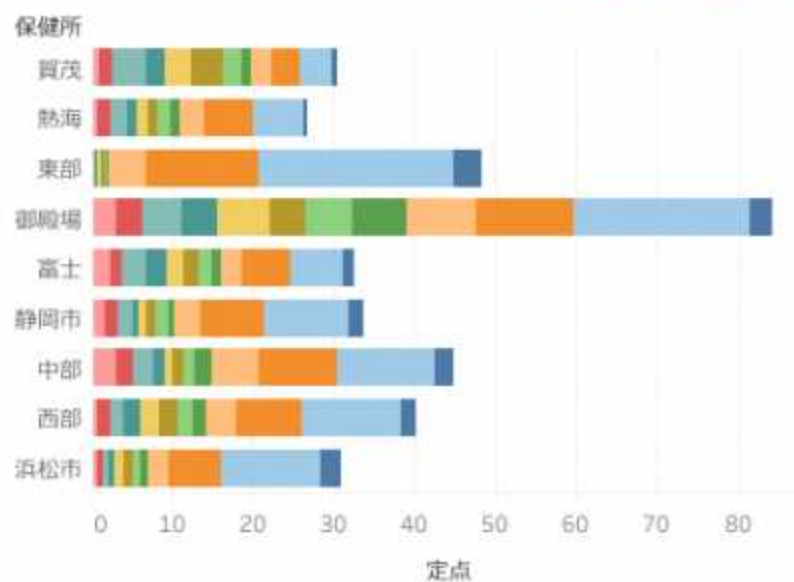
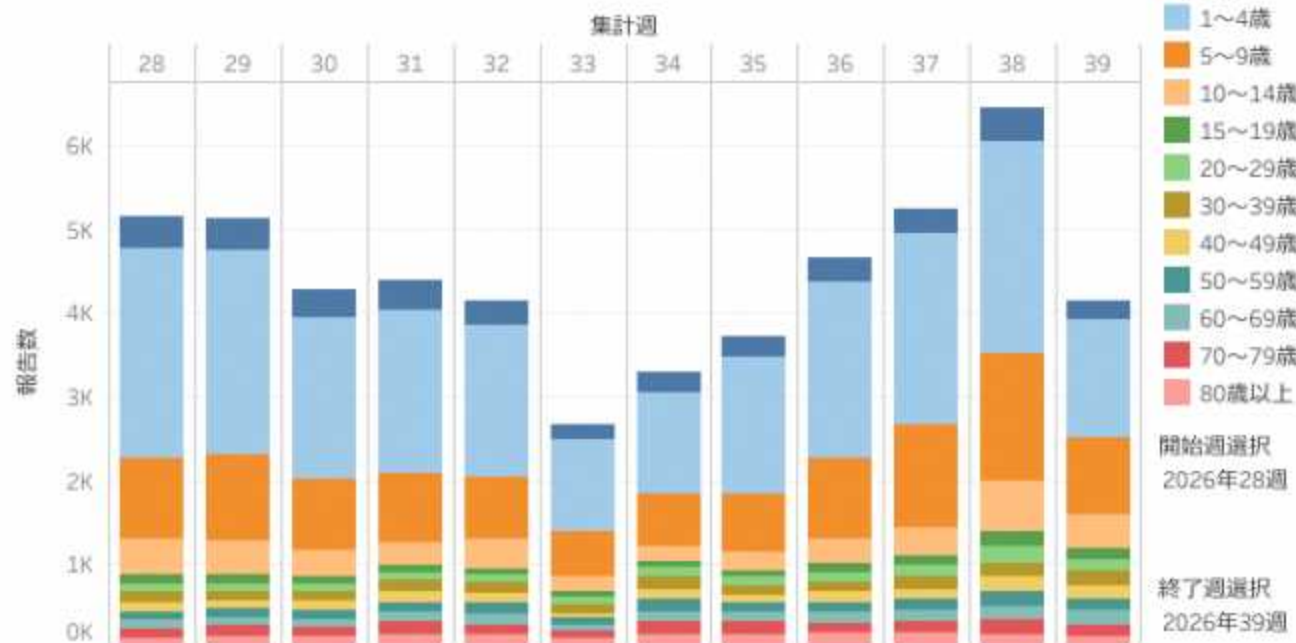
急性呼吸器感染症（ARI）の感染状況について

年週選択 2026年 第39週

年齢構成別報告数（県全体）

保健所別感染状況

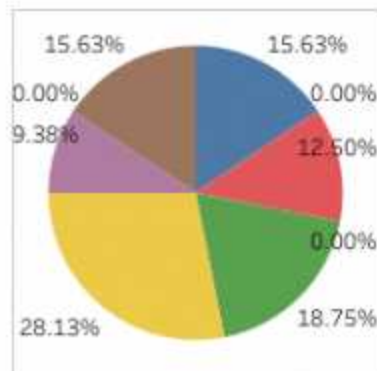
保健所	報告数	定点
賀茂	91	30.33
熱海	160	26.67
東部	771	48.19
御殿場	337	84.25
富士	293	32.56
静岡市	607	33.72
中部	538	44.83
西部	523	40.23
浜松市	831	30.78
保健所	報告数	定点
静岡県	4,151	38.44
全国	155,282	41.84



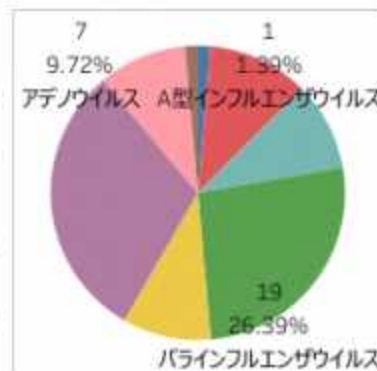
病原体定点から提出された検体の検査結果について

直近12週間の検体数

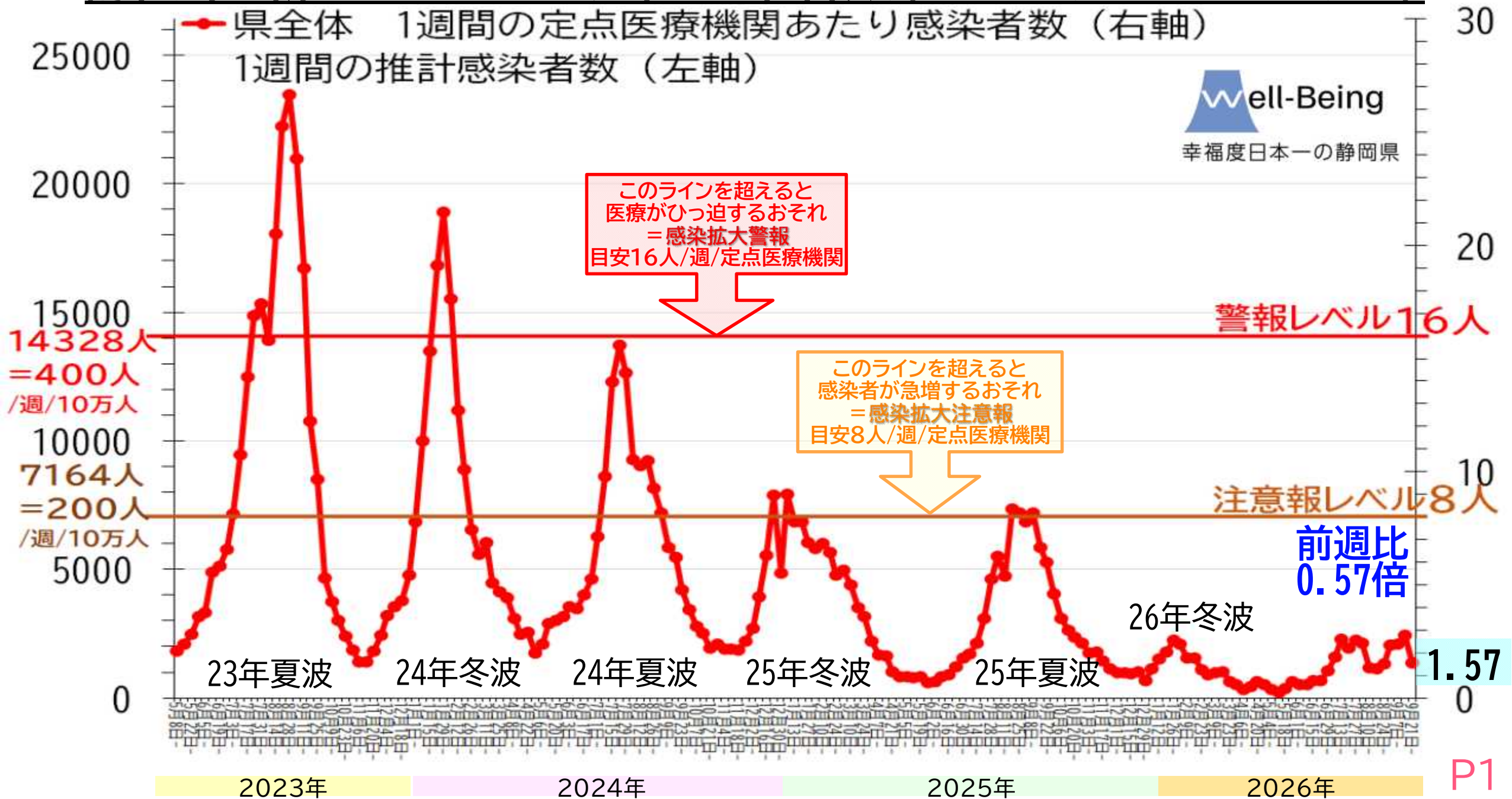
病原体20歳以上



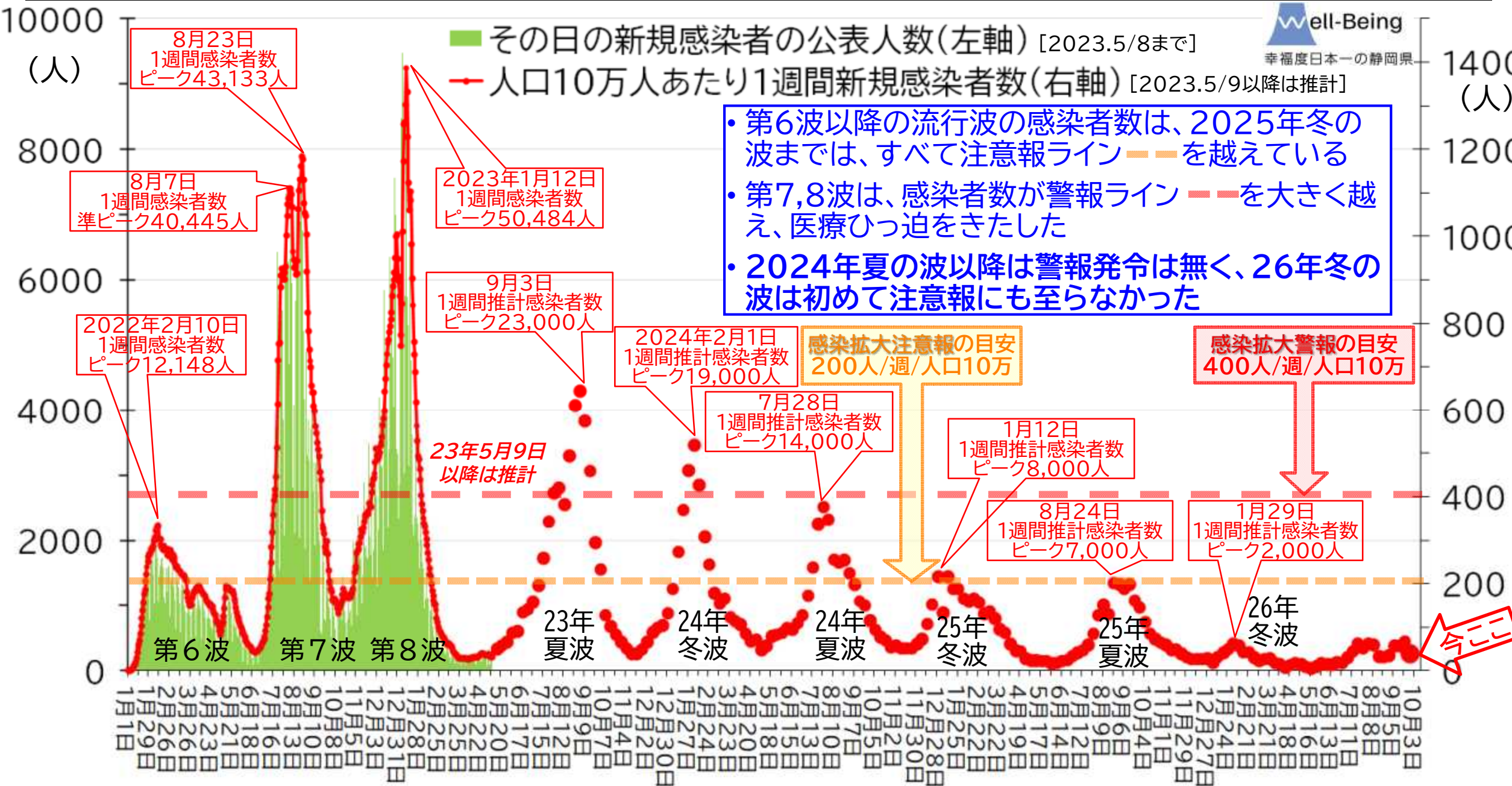
病原体20歳未満



静岡県 新型コロナ 1週間感染者数(2023.5/8~2026.9/27)

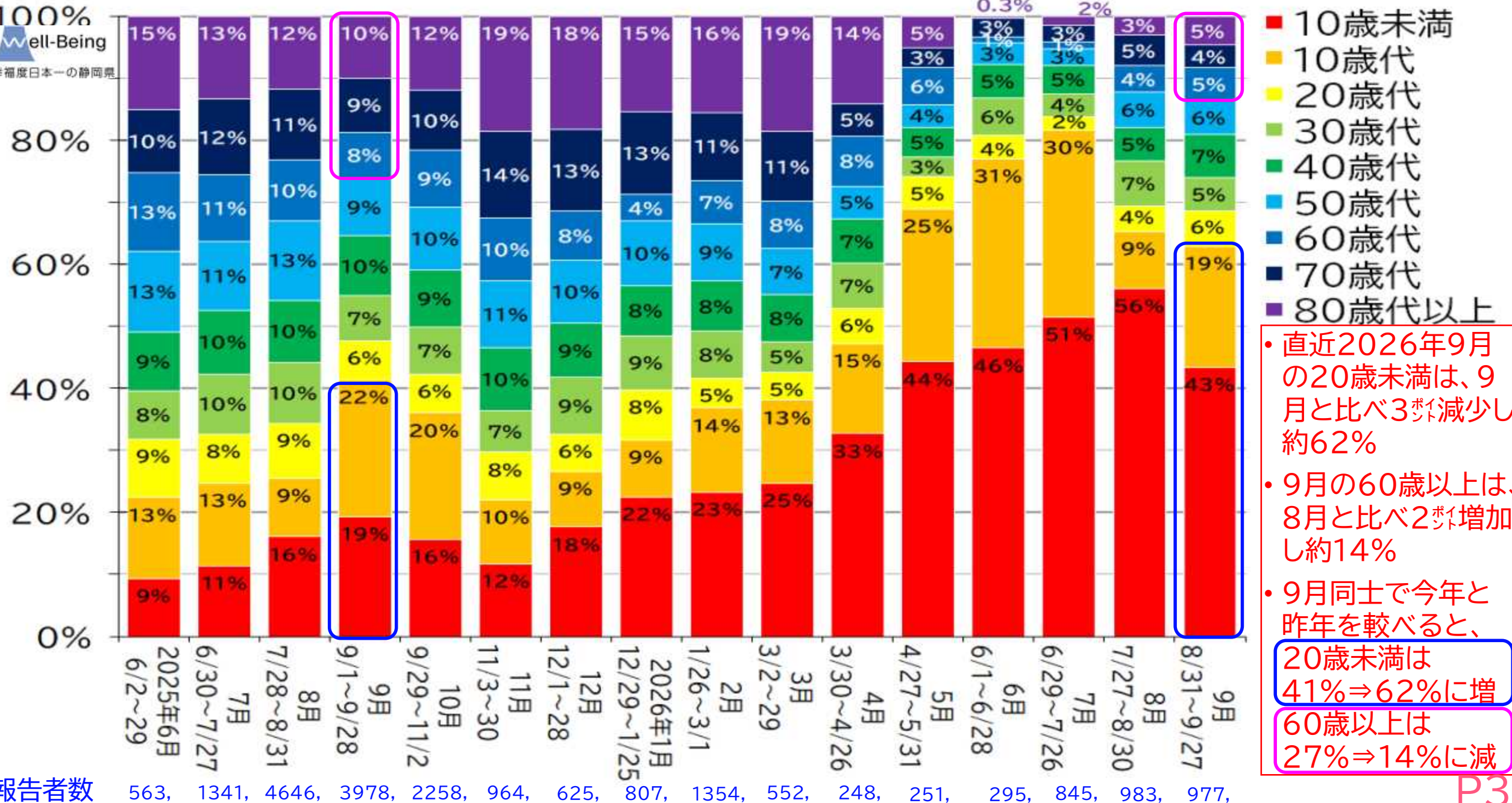


静岡県 新型コロナ オミクロン株以降の感染者数の推移 (2022.1/1~2026.9/27)

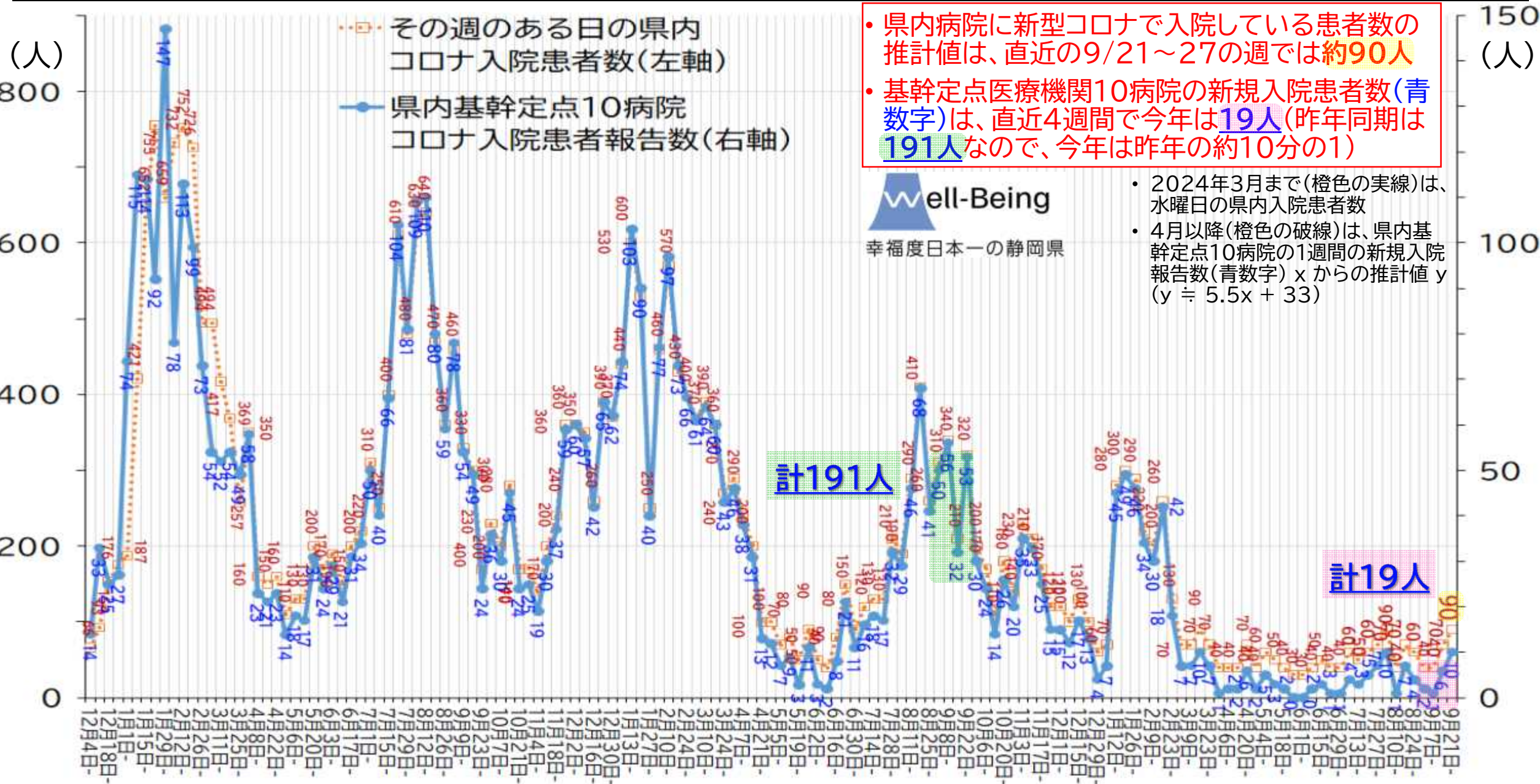


- 第6波以降の流行波の感染者数は、2025年冬の波までは、すべて注意報ライン — を越えている
- 第7,8波は、感染者数が警報ライン — を大きく越え、医療ひっ迫をきたした
- 2024年夏の波以降は警報発令は無く、26年冬の波は初めて注意報にも至らなかった

静岡県 新型コロナ 定点医療機関からの報告者の年代別割合推移(2025. 4/28~2026. 9/27)



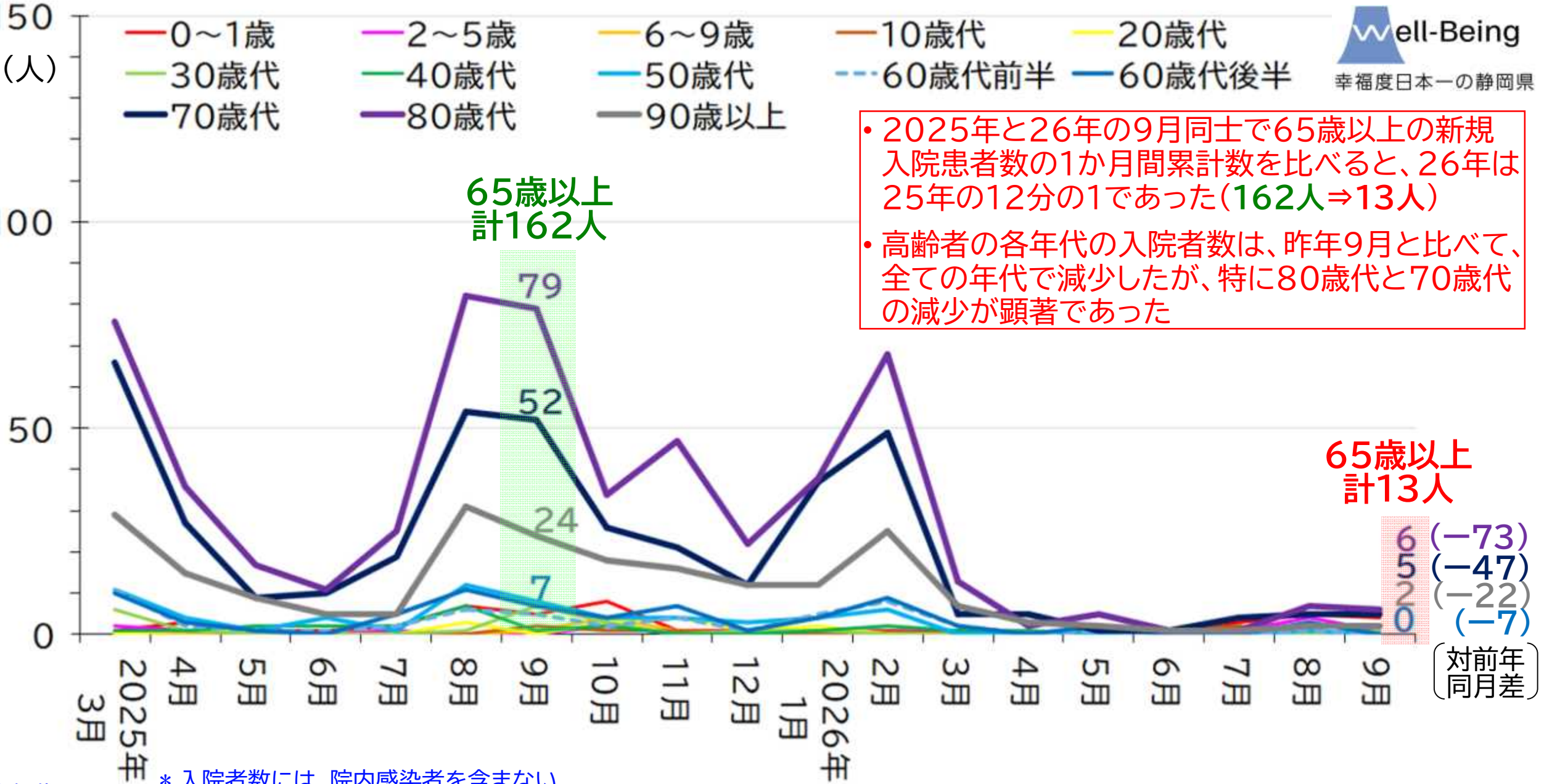
静岡県 新型コロナ入院患者数 おおまかな推計値 (2024. 4/1～2026. 9/27)



- 県内病院に新型コロナで入院している患者数の推計値は、直近の9/21～27の週では約90人
- 基幹定点医療機関10病院の新規入院患者数(青数字)は、直近4週間で今年は19人(去年同期は191人)なので、今年は去年の約10分の1)

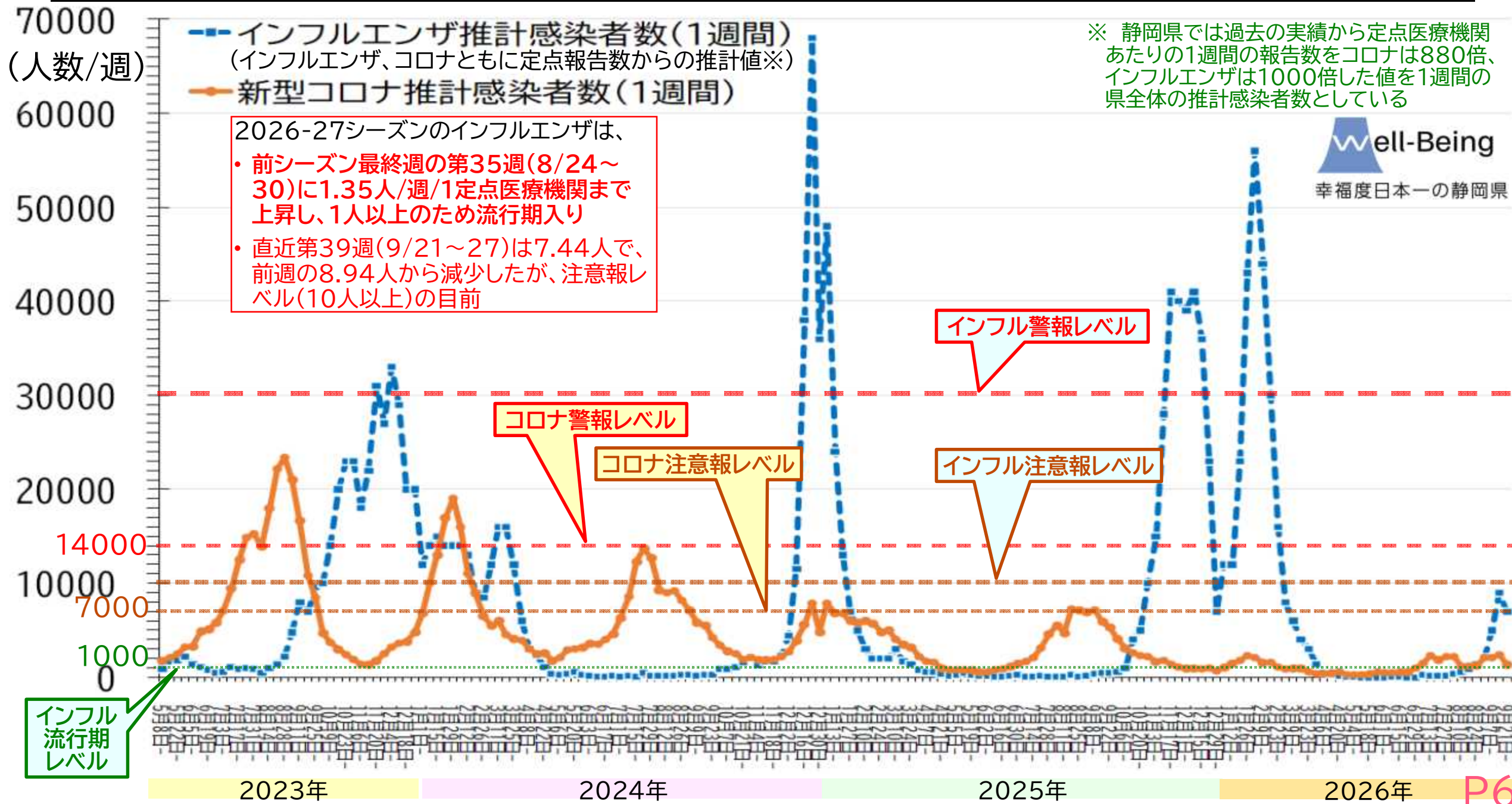
- 2024年3月まで(橙色の実線)は、水曜日の県内入院患者数
- 4月以降(橙色の破線)は、県内基幹定点10病院の1週間の新規入院報告数(青数字) $\times$ からの推計値 y ($y \div 5.5x + 33$)

静岡県 基幹定点医療機関(10病院)のコロナ年代別新規入院患者数の推移(2025.3月～2026.9月)

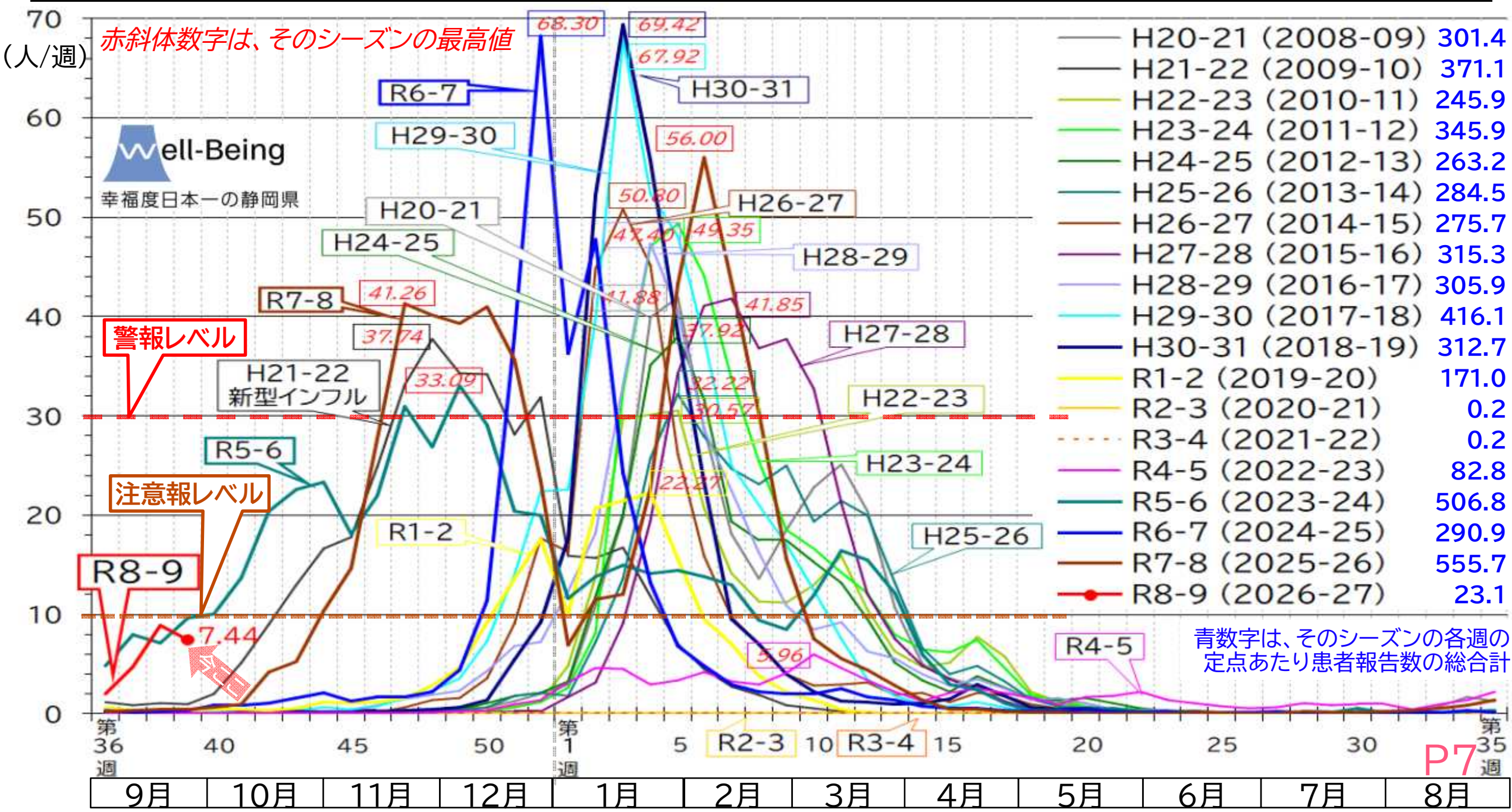


- 2025年と26年の9月同士で65歳以上の新規入院患者数の1か月間累計数を比べると、26年は25年の12分の1であった(162人⇒13人)
- 高齢者の各年代の入院者数は、昨年9月と比べて、全ての年代で減少したが、特に80歳代と70歳代の減少が顕著であった

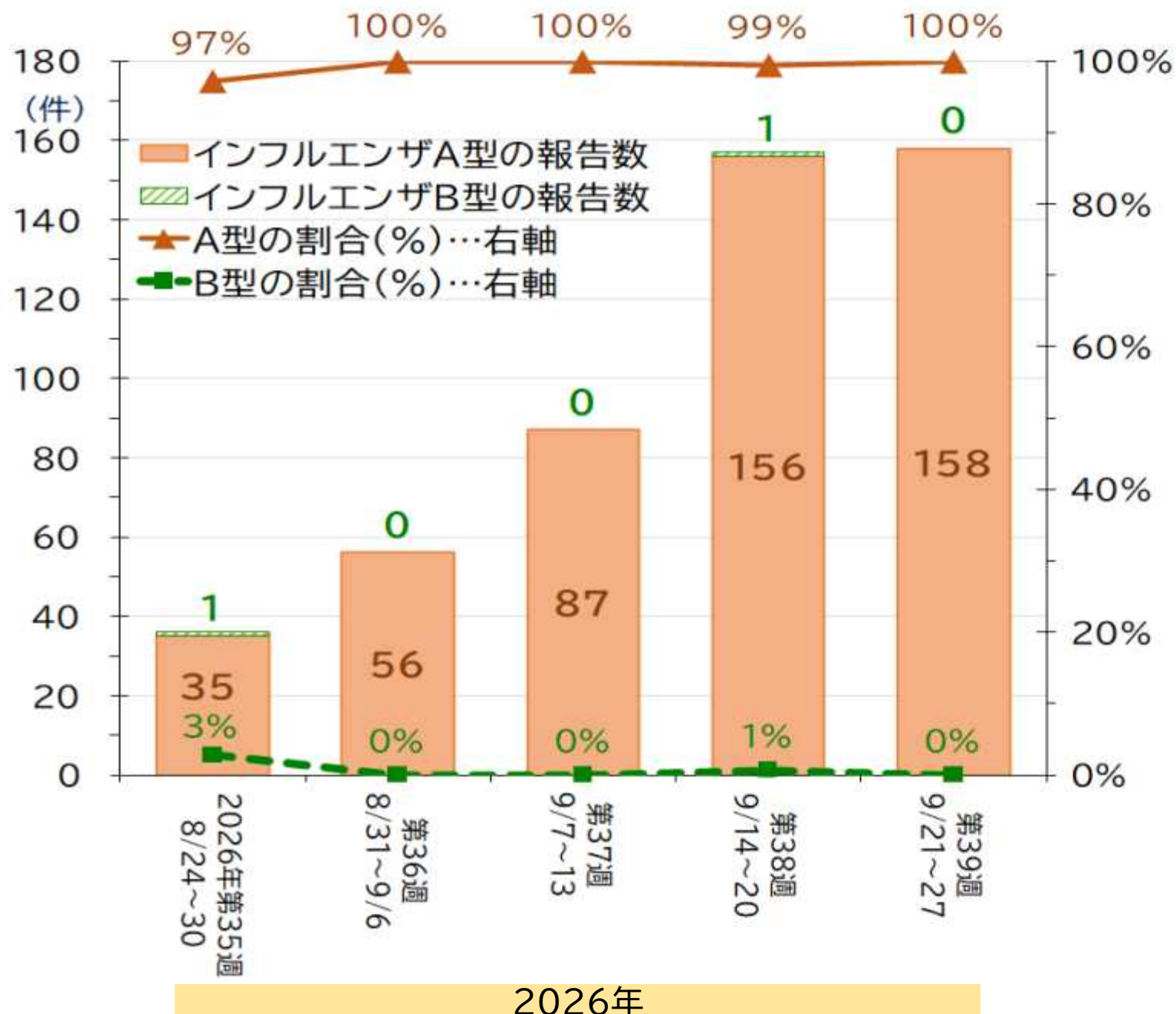
静岡県 新型コロナとインフルエンザの流行の状況 (2023.5/8～2026.9/27)



静岡県 インフルエンザ 定点医療機関からの患者報告数 今季と過去18季の比較



静岡県 インフルエンザ 定点医療機関(一部)のA型とB型の状況(2026. 8/24~9/27)



- 今シーズンのインフルエンザ流行期に、A型・B型別の報告数を教えていただいた一部(約20施設)の定点医療機関からの報告総数をA型・B型別に週ごとにまとめたもの
- ほとんどがA型

2023-24シーズン

2023年 第40~52週
+ 2024年 第1~22週
(2023.10/2~2024.6/2)

2024-25シーズン

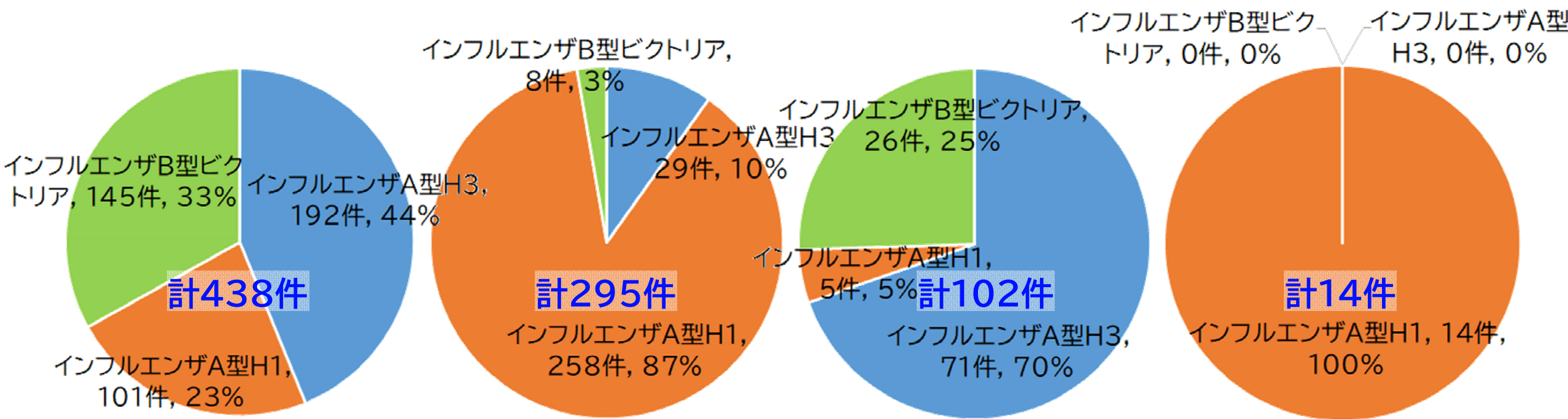
2024年 第36~52週
+ 2025年 第1~14週
(2024.9/2~2025.4/6)

2025-26シーズン

2025年 第36~52週
+ 2026年 第1~15週
(2025.9/1~2026.4/12)

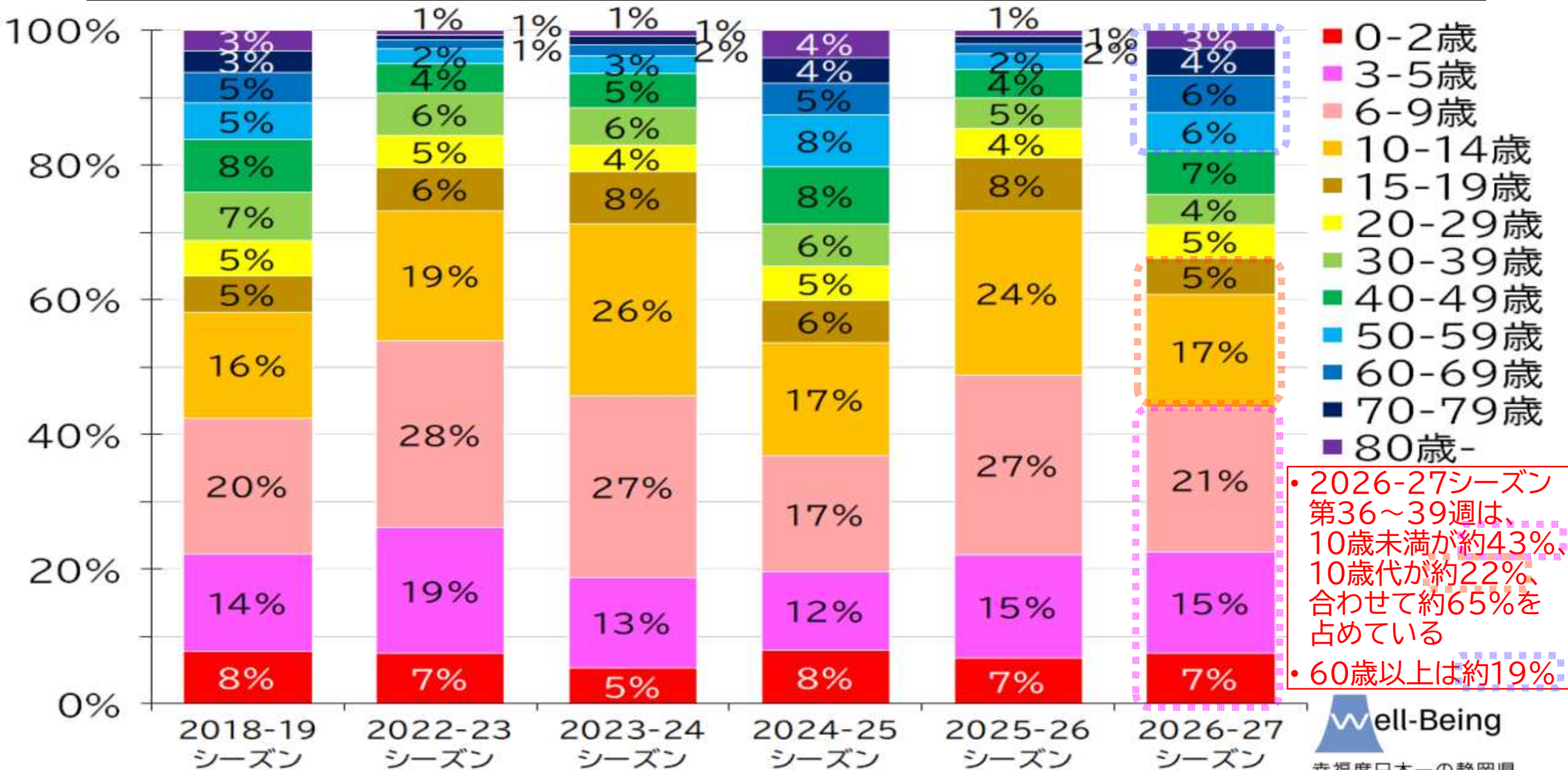
2026-27シーズン

2026年 第36~39週
(2026.8/31~9/27)



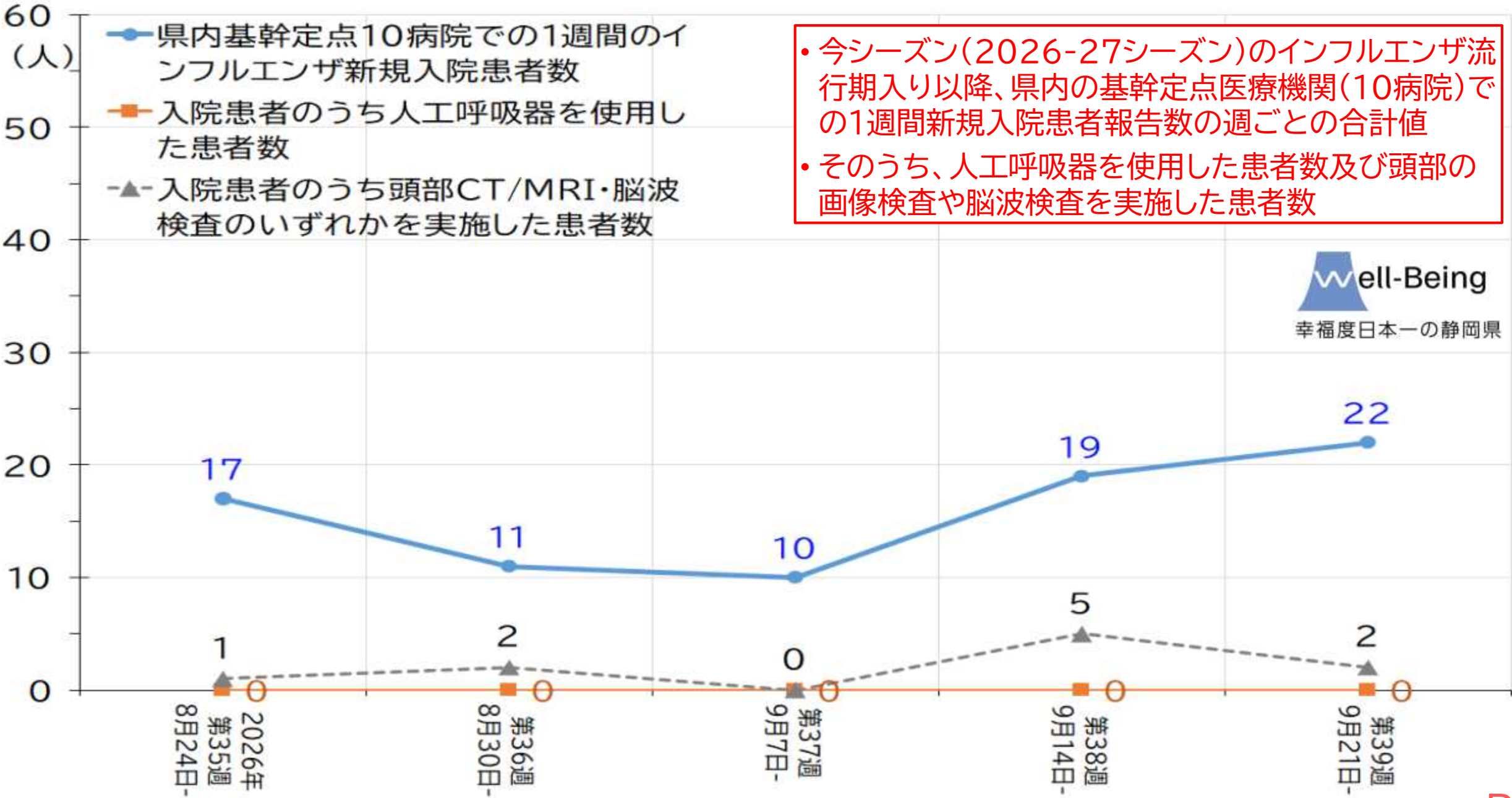
・今シーズンの季節性インフルエンザは、昨シーズンに最も少なかったインフルエンザA型H1が主体で流行が始まっている

静岡県 インフルエンザ 近年6シーズンの報告患者の年齢分布



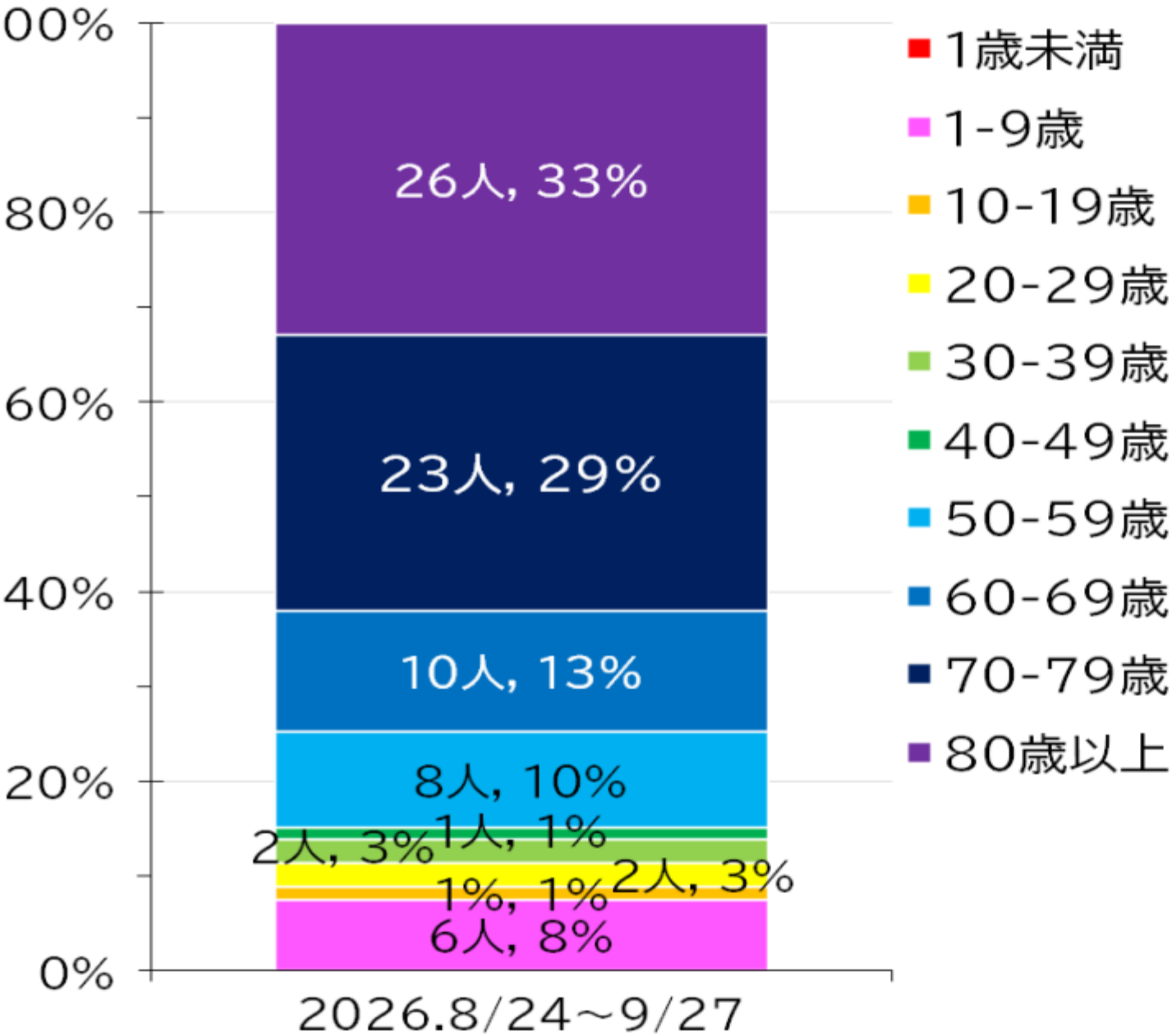
(2026.8/30～9/27)

静岡県 インフルエンザ 基幹定点病院での新規入院患者数の推移 (2026. 8/24~9/27)



- 今シーズン(2026-27シーズン)のインフルエンザ流行期入り以降、県内の基幹定点医療機関(10病院)での1週間新規入院患者報告数の週ごとの合計値
- そのうち、人工呼吸器を使用した患者数及び頭部の画像検査や脳波検査を実施した患者数

静岡県 インフルエンザ 基幹定点病院での新規入院患者年齢分布 (2026. 8/24~9/20)



- 今シーズン(2026-27シーズン)のインフルエンザ流行期入り以降における、県内の基幹定点医療機関(10病院)での1週間新規入院患者を累計した集団の年齢分布
- 全体で累計79人
- 80歳以上が最多で33%、次いで70歳代が29%、60歳代が13%



総入院者数 79人

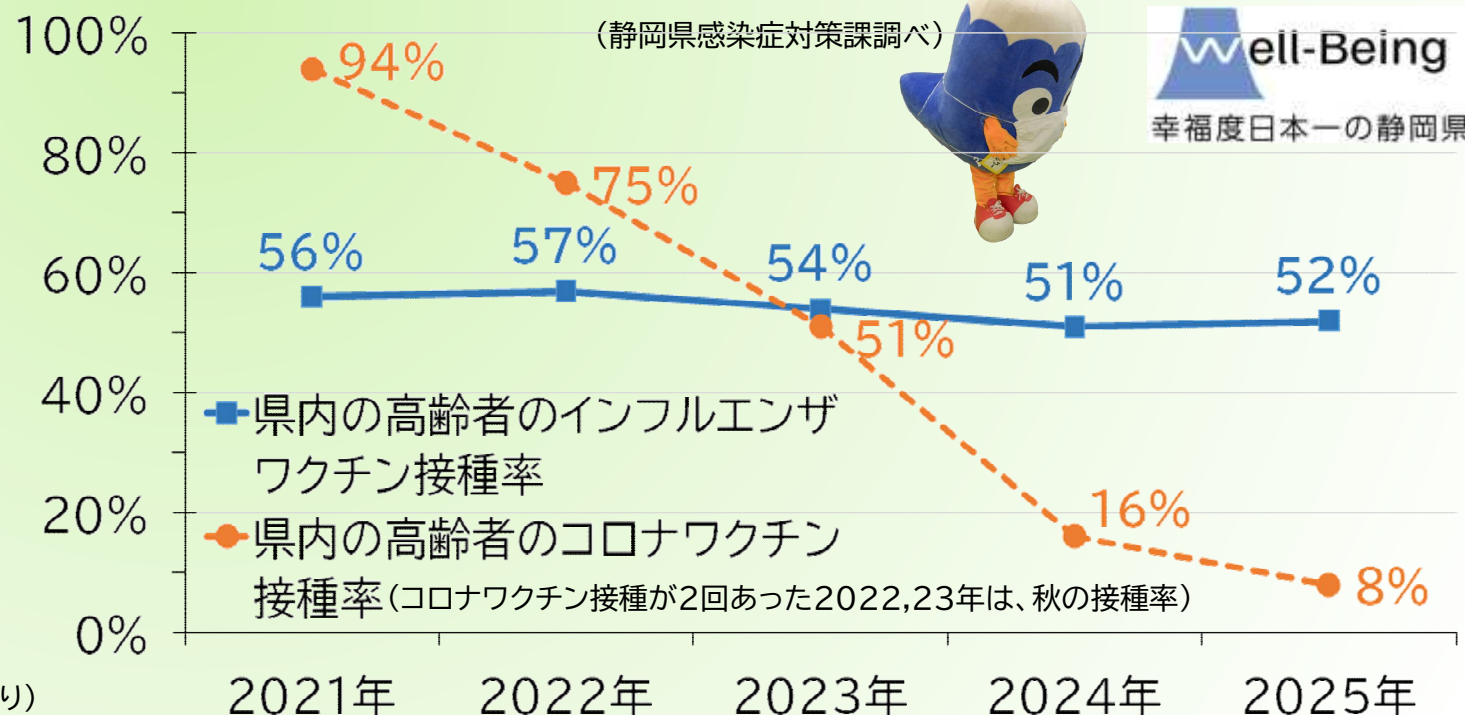
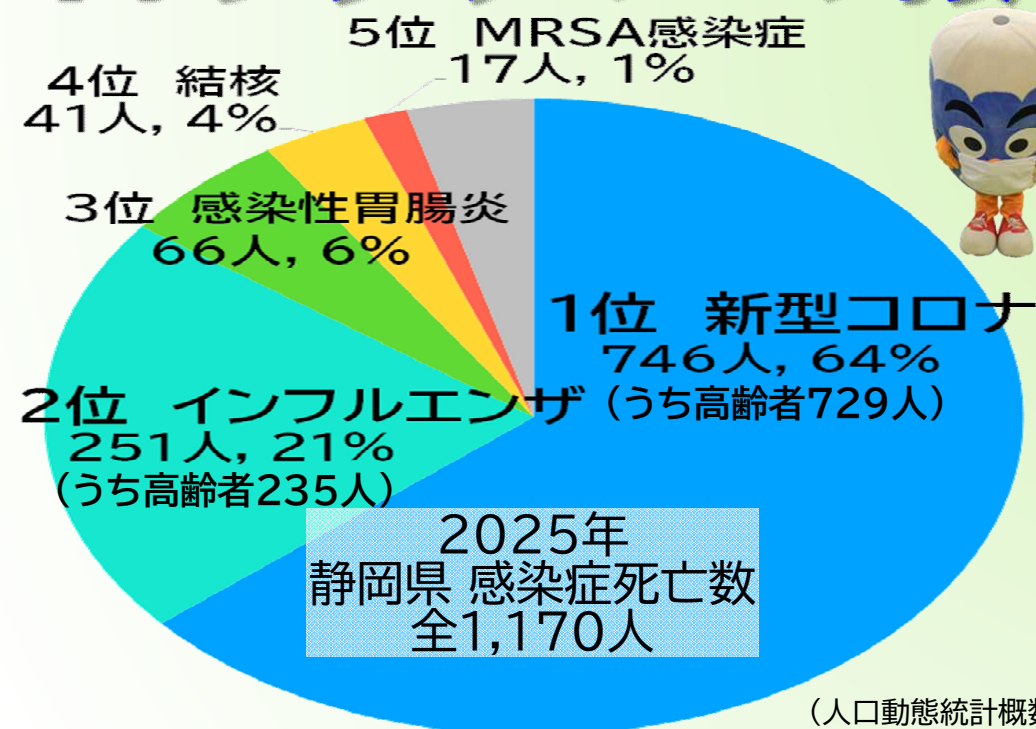
県内インフルエンザ流行期入りです あらためて4つのお願い



1. **医療機関や高齢者施設**の受診や訪問時は、**できるだけマスク着用**を!
2. **体調に少しでも違和感（だるさ、寒気）がある時は、人と会うときにマスク着用**を!
3. **急に症状（熱・頭痛・のど痛）が出たときは、学校や仕事をすぐに休んで療養**を!
4. **人が集まる所では、換気と咳エチケット（咳くしゃみが出る時は口鼻をおおう）**を!

コロナ禍以降，コロナワクチンもインフルエンザ ワクチンも**高齢者の接種率が低下！**

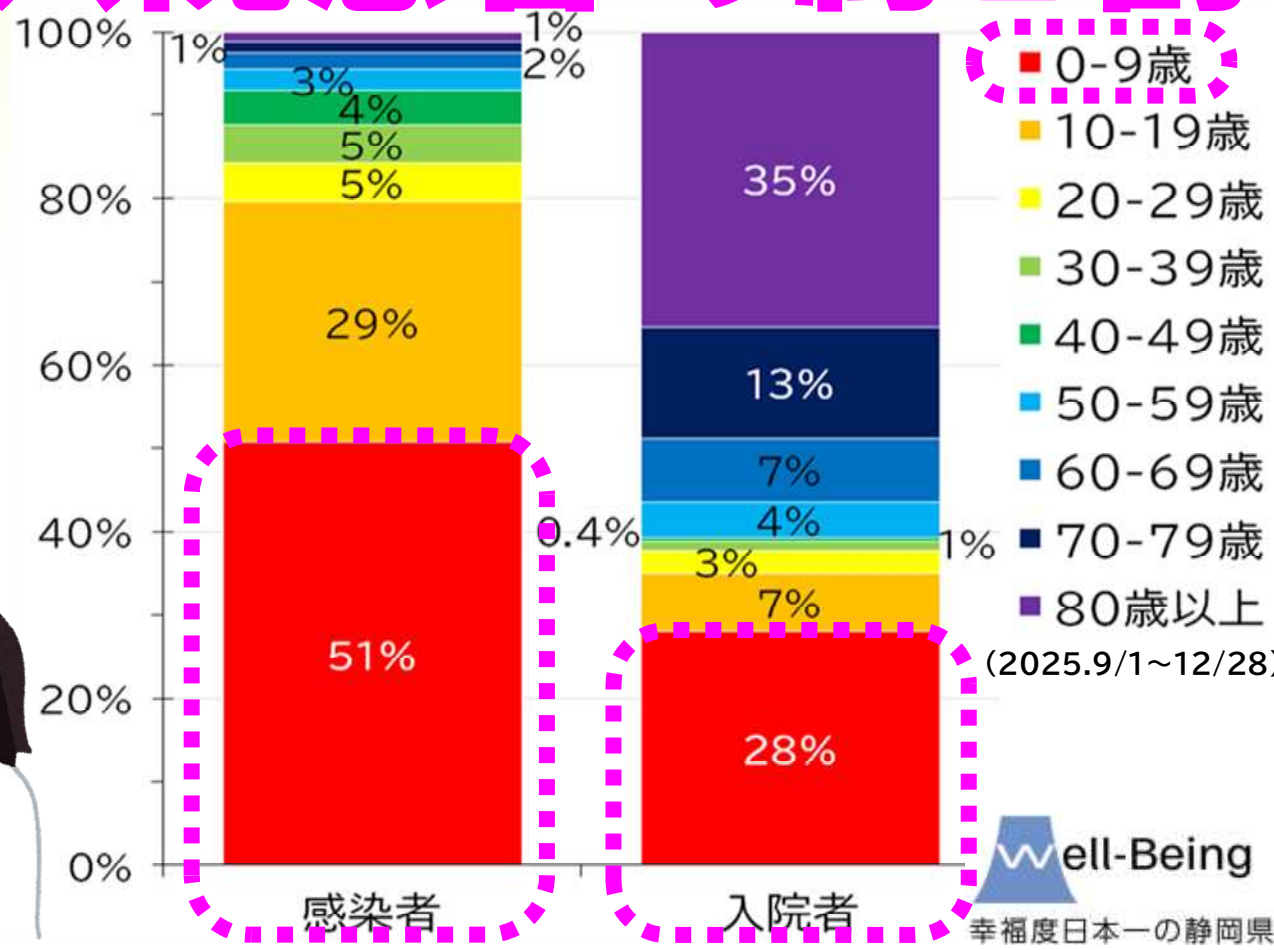
インフルエンザとコロナは、静岡県**の**今年の
感染症による死亡者数第1位と第2位です。
両ワクチンの接種をぜひご検討ください。



昨シーズンのインフルエンザは 静岡県では**10歳未満の子どもが** **感染者の約5割、入院患者の約3割**



を占めています！
生後6か月以上の
**子どものインフル
エンザワクチン**
の接種をぜひ
ご検討ください



急病センターや**当番医**を受診



しよつか迷ったら...



救急車を呼ぼうか迷ったら...

15歳以上は **#7 1 1 9**

15歳未満は **#8 0 0 0**



で電話相談を!

感染症発生動向調査における特記事項欄コメント

第 39 週 令和8年9月21日 ~ 令和8年9月27日

今週の特記事項欄コメントの報告数上位

1	インフルエンザA型	158名	(インフルエンザB型	0名)
2	RSウイルス感染症	21名		
3	新型コロナウイルス感染症	8名		

保健所	医療機関名	感染症名	報告数	備考
熱海	高野医院	新型コロナウイルス感染症	5	
熱海	高野医院	インフルエンザA型	6	
熱海	高野医院	急性呼吸器感染症	57	
熱海	むらかみ小児科クリニック	マイコプラズマ肺炎	1	14歳男児
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	RSウイルス感染症	11	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	インフルエンザA型	30	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	新型コロナウイルス感染症	2	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	マイコプラズマ肺炎	5	
御殿場	公益社団法人有隣厚生会 富士病院	インフルエンザA型	9	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	RSウイルス感染症	10	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	インフルエンザA型	18	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	新型コロナウイルス感染症	1	
御殿場	なががわ医院	インフルエンザA型	1	
富士	平野医院	インフルエンザA型	2	
浜松市	クリニック・パパ	ヒトメタニューモ	1	1才女
浜松市	クリニック・パパ	インフルエンザA型	7	1才男 3才女 5才女 6才女 8才男 9才女 10~14才女
浜松市	げんきこどもクリニック	インフルエンザA型	47	
浜松市	いぬかい小児科	インフルエンザA型	1	6才男
浜松市	幸田子供クリニック	インフルエンザA型	10	6~12か月女1・3才女1・5才女1・6才女2・10~14才女3・30代男1女1
浜松市	おおば小児科	インフルエンザA型	5	9才男1・10~14才男2女2
浜松市	天竜こども医院	インフルエンザA型	3	10~14才男・15~19才男1女1
浜松市	やわたの森こどもクリニック	ヒトメタニューモ	1	
浜松市	縣医院	インフルエンザA型	2	20代男 30代男
浜松市	くまがいクリニック	インフルエンザA型	2	50代男・80才以上男
浜松市	大竹内科医院	インフルエンザA型	10	20代男2女1・30代男・40代男2女1・50代女1・60代男1・70代女1
浜松市	みかえ内科クリニック	インフルエンザA型	5	10~14才男・30代男・40代男・50代男1女1

静岡県の感染症週報はホームページでも御覧いただけます。

(「静岡県 感染症週報」で検索)

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003065/index.html>



第 39 週

疾患名	区分	静岡県							全国				
		第 34 週	第 35 週	第 36 週	第 37 週	第 38 週	今週	年累計	第 36 週	第 37 週	第 38 週	今週	年累計
エボラ出血熱	1 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クリミア・コンゴ出血熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
痘そう		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南米出血熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペスト		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マールブルグ病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ラッサ熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性灰白髄炎	2 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
結核		4	14	10	8	4	5	266	257	265	261	150	10963
ジフテリア		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重症急性呼吸器症候群 (SARS)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中東呼吸器症候群 (MERS)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザ (H5N1)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザ (H7N9)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コレラ	3 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
細菌性赤痢		0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	52
腸管出血性大腸菌感染症		5	3	0	3	4	1	57	137	148	147	61	3318
腸チフス		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	28
パラチフス		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	15
E型肝炎		0	0	0	0	0	0	6	6	5	6	7	483
ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎含む)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A型肝炎	4 類	0	0	0	0	0	0	5	10	7	15	6	311
エキソコックス症		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	17
エムボックス		0	0	0	0	0	0	0	6	5	2	1	132
黄熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オウム病		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5
オムスタ出血熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回帰熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
キャサスル森林病	5 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Q熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
狂犬病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コクシジオイデス症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
ジカウイルス感染症		0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)		0	0	0	0	0	0	8	5	4	3	4	149
腎臓後性出血熱 (HFRS)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西部ウマ脳炎	6 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ダニ媒介脳炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
炭疽		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
テングニア熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
つつが虫病		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	63
デング熱		0	0	0	0	1	0	2	6	5	9	4	104
東部ウマ脳炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザ (H5N1 及び H7N9 を除く)	7 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニパウイルス感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本紅斑熱		1	3	1	1	2	0	13	16	25	30	20	437
日本脳炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
ハンタウイルス肺症候群 (HPS)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Bウイルス病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鼻疽		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ブルセラ症	8 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ペネズエラウマ脳炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘンドラウイルス感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
炭疽芽胞		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボツリヌス症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マラリア		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	36
野兔病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ライム病	9 類	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4
リッサウイルス感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リフトバレー熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
類鼻疽		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
レジオネラ症		1	0	3	1	2	4	70	53	57	86	82	1981
レプトスピラ症		0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	2	13
ロッキー山紅斑熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アメーバ赤痢	10 類	2	0	2	0	0	0	15	10	10	9	4	373
ウイルス性肝炎		0	0	0	0	0	0	1	0	2	2	2	154
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		0	0	0	0	0	1	15	11	26	21	9	747
急性弛緩性麻痺		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
急性脳炎		0	0	0	0	1	0	9	11	6	8	10	383
クリプトスポリジウム症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
クロイツフェルト・ヤコブ病		0	0	0	1	0	0	6	3	3	2	3	123
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11 類	0	0	3	1	1	1	33	22	11	17	14	953
後天性免疫不全症候群 (HIV 感染症を含む)		1	0	0	0	0	0	14	11	11	15	6	697
ジアルジア症		0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	35
侵襲性インフルエンザ菌感染症		0	0	0	0	0	0	6	6	6	6	2	425
侵襲性髄膜炎菌感染症		0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	2	46
侵襲性肺炎球菌感染症		0	1	0	0	2	0	45	18	17	16	21	2005
水痘 (入院例)		0	0	0	0	0	0	16	13	9	8	11	644
先天性風しん症候群	12 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
多剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	0	0	0	1	2	3	6	3	182
梅毒		6	4	6	4	4	4	216	162	163	146	53	8491
播種性クリプトコックス症		0	0	0	0	0	0	1	3	2	2	2	129
破傷風		0	0	0	0	0	0	1	5	3	2	0	83
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	55
百日咳	13 類	1	1	0	3	0	2	88	46	57	91	51	4501
風しん		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
麻疹		0	0	0	0	0	0	4	2	6	15	2	576
薬剤耐性アシネトバクター感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
新型インフルエンザ等感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※次週以降に届出の追加や取り下げがあった場合、この表では、前週以前の届出数に反映されません。「今週」と「年累計」は、現時点での正しい届出数です。前週以前の届出数はその後、増減している可能性があります。

※令和8年4月6日から薬剤耐性緑膿菌感染症は多剤耐性緑膿菌に名称変更し、全数把握感染症に変更になりました。

定点把握感染症集計表(届出数)

2026 第 39 週

		静岡県							全国				
		第34週	第35週	第36週	第37週	第38週	今週	計	第36週	第37週	第38週	今週	計
小児科	RSウイルス感染症	29	61	79	102	117	78	466	2,289	2,522	2,787	1,882	9,480
	咽頭結膜熱	20	5	12	5	12	1	55	580	546	570	329	2,025
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	47	62	81	64	58	32	344	3,094	3,280	3,320	1,625	11,319
	感染性胃腸炎	115	123	157	144	125	88	752	8,679	8,555	8,300	4,990	30,524
	水痘	5	4	5	8	4	3	29	476	369	496	350	1,691
	手足口病	57	59	39	36	52	12	255	3,882	3,278	3,039	1,685	11,884
	伝染性紅斑	2	3	2	2	1	2	12	70	63	78	53	264
	突発性発しん	16	22	25	8	13	8	92	698	690	662	428	2,478
	ヘルパンギーナ	32	39	48	69	206	97	491	2,159	2,255	2,923	1,330	8,667
	流行性耳下腺炎	2	1	2	8	2	2	17	72	114	96	63	345
小・内	インフルエンザ	98	146	223	508	965	804	2744	12,299	20,697	31,428	26,678	91,102
	新型コロナウイルス感染症	139	162	253	256	298	170	1278	7,777	9,122	9,826	4,671	31,396
眼科	急性出血性結膜炎	0	0	1	0	0	0	1	10	7	4	1	22
	流行性角結膜炎	9	4	4	2	6	2	27	448	455	421	350	1,674
基幹	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	1	1	13	6	10	8	37
	無菌性髄膜炎	0	0	1	0	0	0	1	22	24	22	24	92
	マイコプラズマ肺炎	3	10	5	4	4	5	31	193	210	263	247	913
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0	0	0	0	0	0	0	6	9	6	5	26
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0	0	0	0	0	0	0	3	3	2	1	9

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	66	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	42	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねています。

定点把握感染症集計表(定点当り患者数)

2026 第 39 週

		静岡県						全国			
		第34週	第35週	第36週	第37週	第38週	今週	第36週	第37週	第38週	今週
小児科	RSウイルス感染症	0.44	0.92	1.20	1.55	1.77	1.18	1.02	1.12	1.24	0.84
	咽頭結膜熱	0.30	0.08	0.18	0.08	0.18	0.02	0.26	0.24	0.25	0.15
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.71	0.94	1.23	0.97	0.88	0.48	1.38	1.46	1.48	0.72
	感染性胃腸炎	1.74	1.86	2.38	2.18	1.89	1.33	3.86	3.80	3.70	2.22
	水痘	0.08	0.06	0.08	0.12	0.06	0.05	0.21	0.16	0.22	0.16
	手足口病	0.86	0.89	0.59	0.55	0.79	0.18	1.73	1.45	1.36	0.75
	伝染性紅斑	0.03	0.05	0.03	0.03	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02
	突発性発しん	0.24	0.33	0.38	0.12	0.20	0.12	0.31	0.31	0.30	0.19
	ヘルパンギーナ	0.48	0.59	0.73	1.05	3.12	1.47	0.96	1.00	1.30	0.59
	流行性耳下腺炎	0.03	0.02	0.03	0.12	0.03	0.03	0.03	0.05	0.04	0.03
小・内	インフルエンザ	0.91	1.35	2.06	4.70	8.94	7.44	3.29	5.54	8.48	7.17
	新型コロナウイルス感染症	1.29	1.50	2.34	2.37	2.76	1.57	2.08	2.44	2.65	1.25
眼科	急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.00
	流行性角結膜炎	0.41	0.18	0.18	0.09	0.27	0.09	0.65	0.66	0.63	0.51
基幹	細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.03	0.01	0.02	0.02
	無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.05	0.05	0.05	0.05
	マイコプラズマ肺炎	0.30	1.00	0.50	0.40	0.40	0.50	0.40	0.44	0.55	0.52
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.02	0.01	0.01
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.00	0.00

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	66	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	42	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※定点当り患者数とは1週間の1医療機関当りの平均患者数です。(報告数÷定点医療機関数=定点当り患者数)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねています。

定点把握感染症保健所別集計表

第 39 週 定点把握感染症 保健所別状況

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	78	1.18	1	0.02	32	0.48	88	1.33	3	0.05
賀茂	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
熱海	0	0.00	0	0.00	0	0.00	10	2.50	0	0.00
東部	15	1.67	0	0.00	10	1.11	1	0.11	0	0.00
御殿場	16	8.00	0	0.00	1	0.50	2	1.00	0	0.00
富士	5	1.00	1	0.20	1	0.20	1	0.20	0	0.00
静岡市	15	1.36	0	0.00	2	0.18	7	0.64	0	0.00
中部	4	0.50	0	0.00	4	0.50	18	2.25	1	0.13
西部	5	0.63	0	0.00	2	0.25	7	0.88	0	0.00
浜松市	18	1.06	0	0.00	12	0.71	42	2.47	2	0.12

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	定点当り	罹患数	定点当り
総数	12	0.18	2	0.03	8	0.12	97	1.47	2	0.03
賀茂	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
熱海	1	0.25	0	0.00	0	0.00	1	0.25	0	0.00
東部	4	0.44	2	0.22	3	0.33	18	2.00	1	0.11
御殿場	1	0.50	0	0.00	0	0.00	1	0.50	0	0.00
富士	0	0.00	0	0.00	2	0.40	25	5.00	1	0.20
静岡市	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0.09	0	0.00
中部	1	0.13	0	0.00	1	0.13	22	2.75	0	0.00
西部	2	0.25	0	0.00	1	0.13	21	2.63	0	0.00
浜松市	3	0.18	0	0.00	1	0.06	8	0.47	0	0.00

保健所名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症				指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	注意報基準値	警報基準値	小児科	内科
総数	804	7.44	170	1.57	8.0	16.0	66	42
賀茂	22	7.33	10	3.33	13.0	26.0	2	1
熱海	29	4.83	16	2.67	9.0	18.0	4	2
東部	211	13.19	19	1.19	8.0	16.0	9	7
御殿場	66	16.50	17	4.25	17.0	34.0	2	2
富士	73	8.11	12	1.33	11.0	22.0	5	4
静岡市	104	5.78	33	1.83	6.0	12.0	11	7
中部	77	6.42	16	1.33	8.0	16.0	8	4
西部	79	6.08	25	1.92	10.0	20.0	8	5
浜松市	143	5.30	22	0.81	7.0	14.0	17	10

【静岡県内保健所一覧】

保健所	管轄市町
賀茂	下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町
熱海	熱海市、伊東市
東部	沼津市、三島市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町
御殿場	御殿場市、小山町
富士	富士市、富士宮市
静岡市	静岡市
中部	藤枝市、島田市、焼津市、牧之原市、吉田町、川根本町
西部	磐田市、掛川市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、森町
浜松市	浜松市

第 39 週 定点把握感染症 保健所別状況

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0	0.00	2	0.09	1	0.10	0	0.00	0.50	0.50
賀茂	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-
熱海	...	...	...	...	-	-	-	-	1	1.00
東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
御殿場	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
富士	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4.00
静岡市	-	-	-	-	1	0.50	-	-	-	-
中部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浜松市	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-

保健所名	クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0.00	0.00	0.00	0.00
賀茂	-	-	-	-
熱海	-	-	-	-
東部	-	-	-	-
御殿場	...	...	...	...
富士	-	-	-	-
静岡市	-	-	-	-
中部	-	-	-	-
西部	-	-	-	-
浜松市	-	-	-	-

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	10
	1
	1
4	1
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

2026 第 39 週

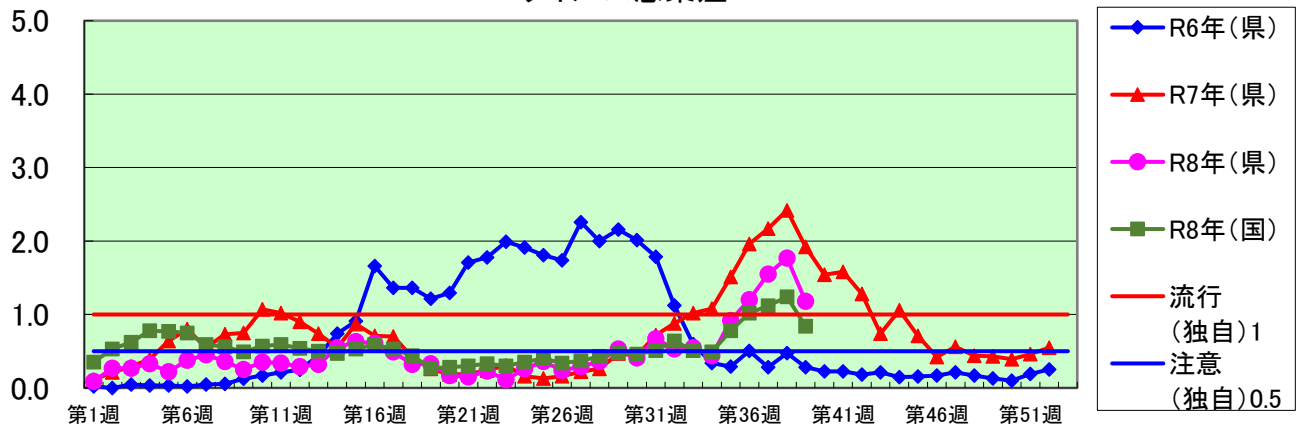
[illegible]

2026 第 39 週

[illegible]

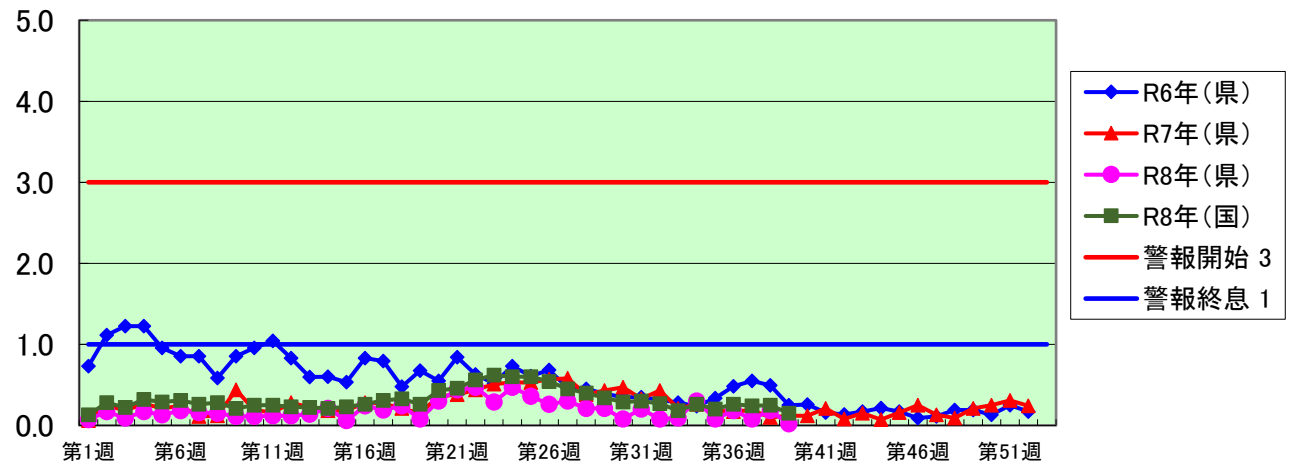
(定点当たり患者数)

RSウイルス感染症



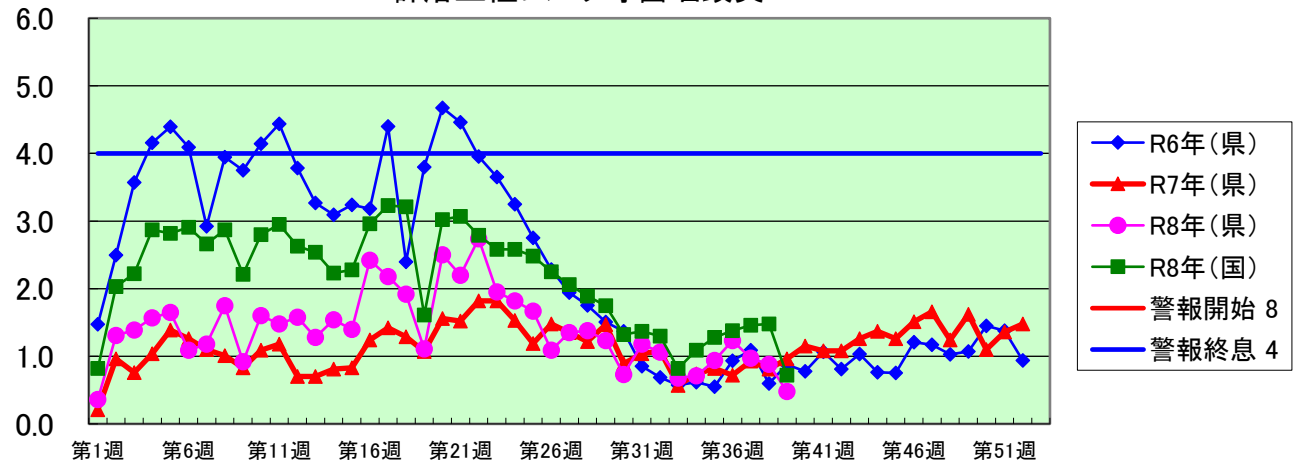
(定点当たり患者数)

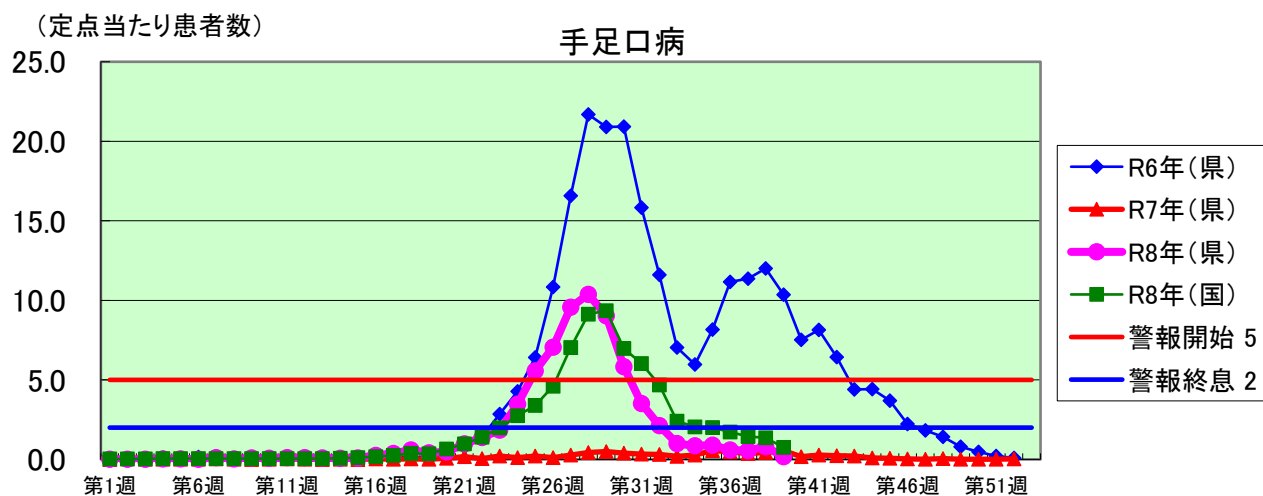
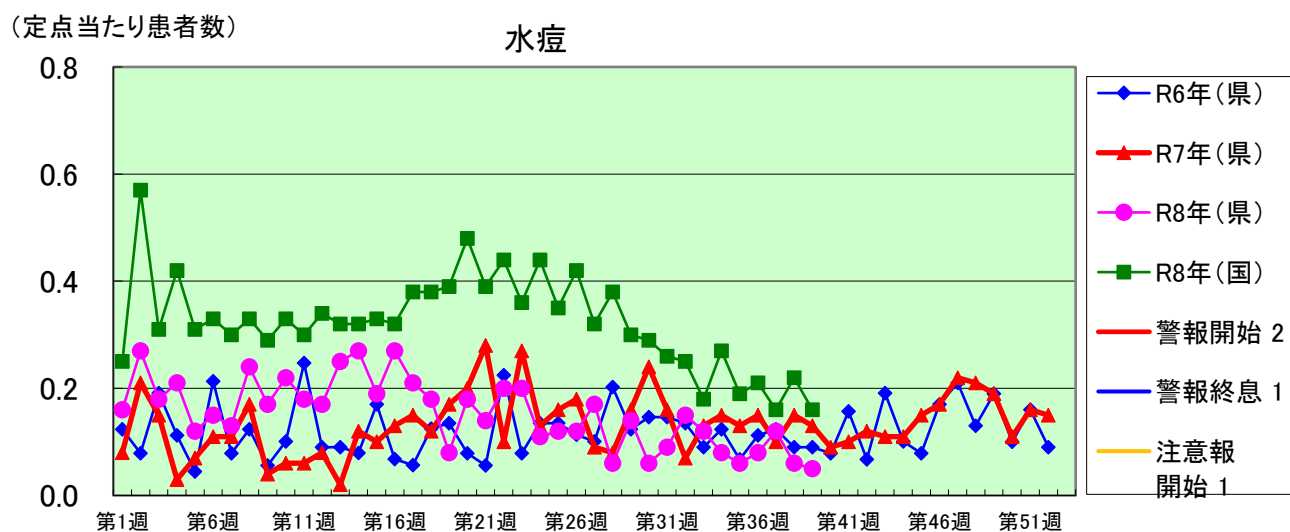
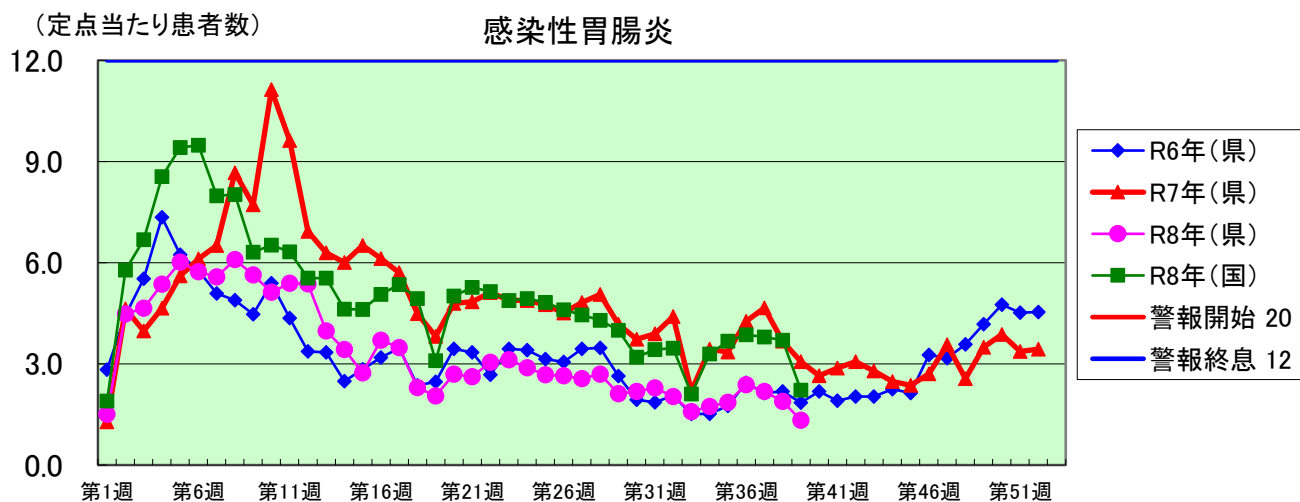
咽頭結膜熱

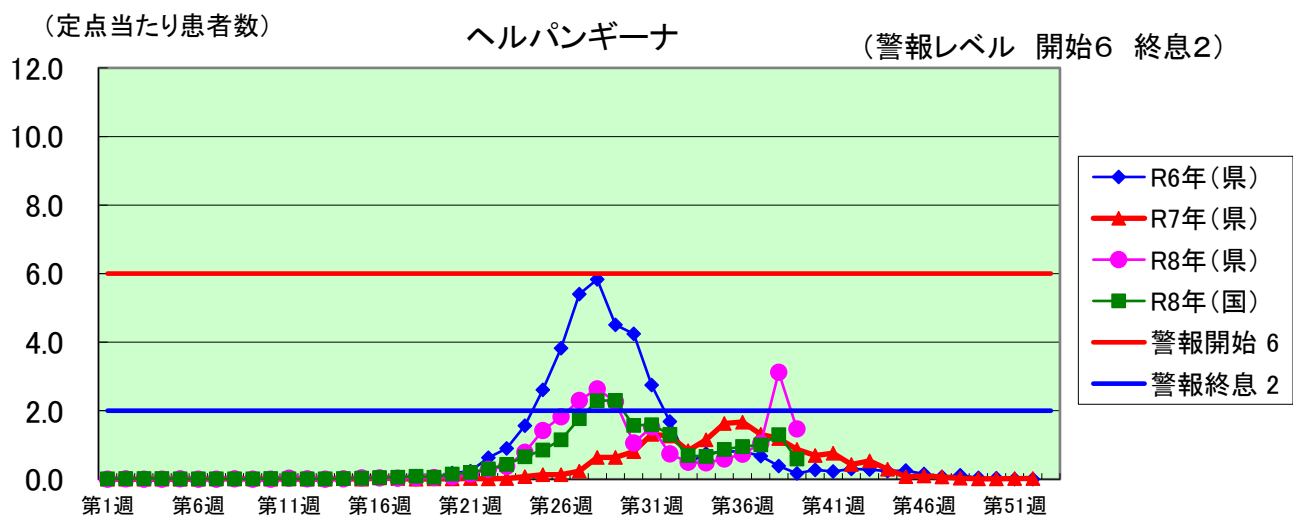
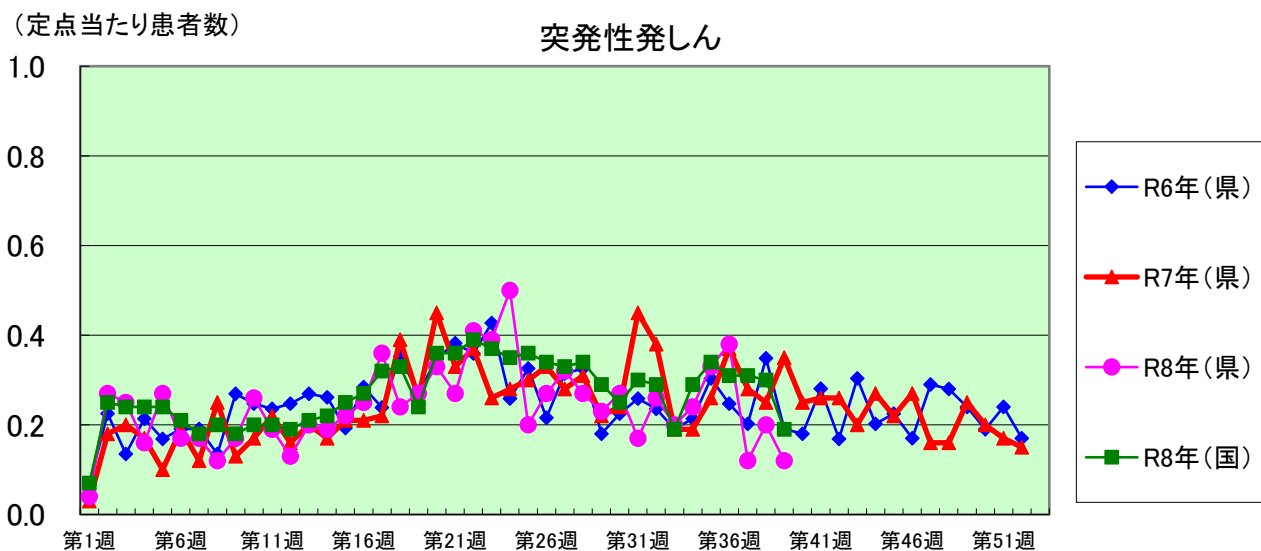
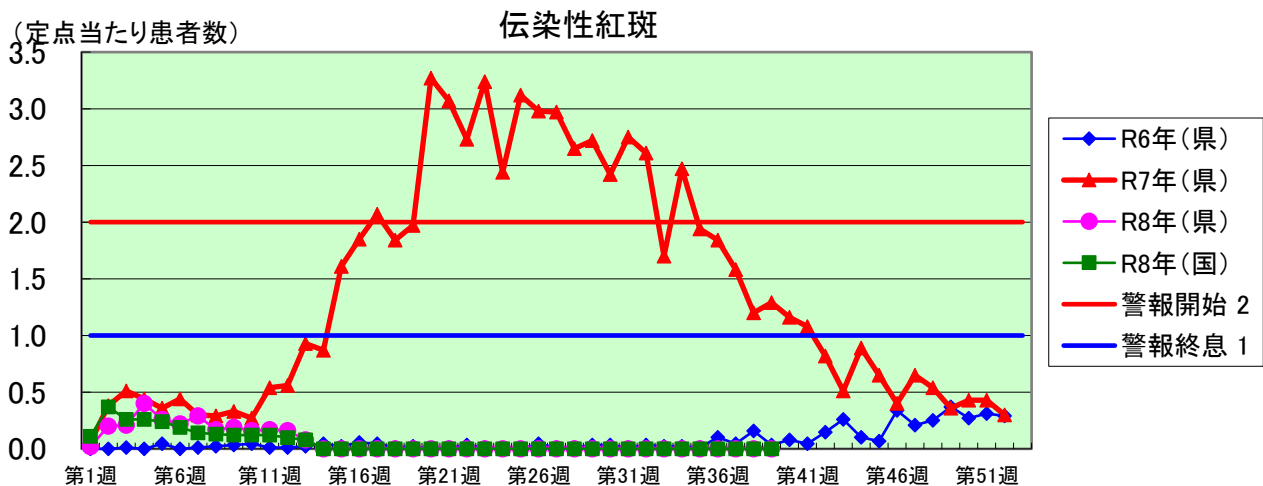


(定点当たり患者数)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

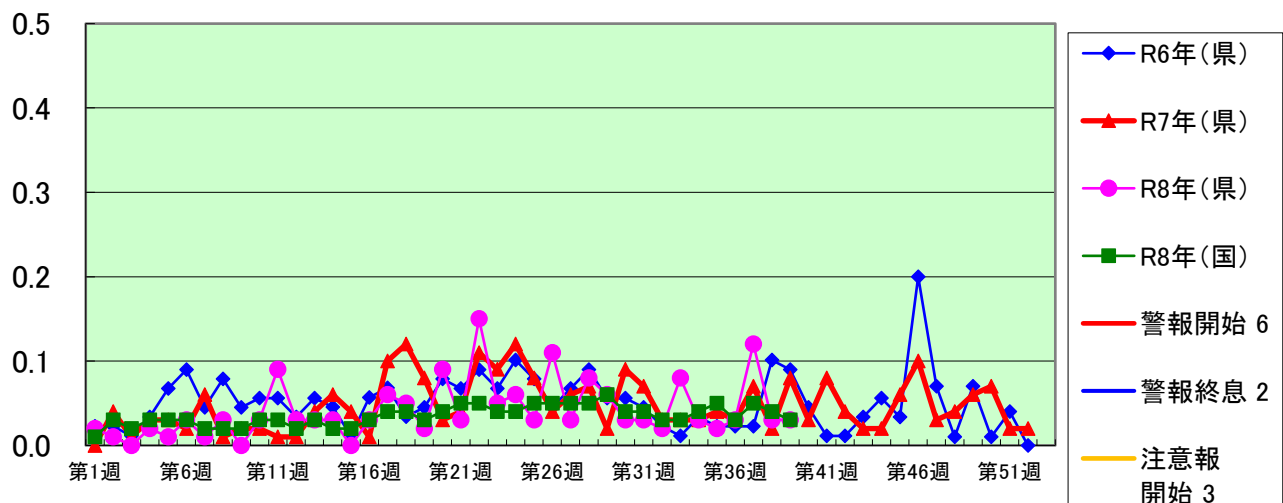






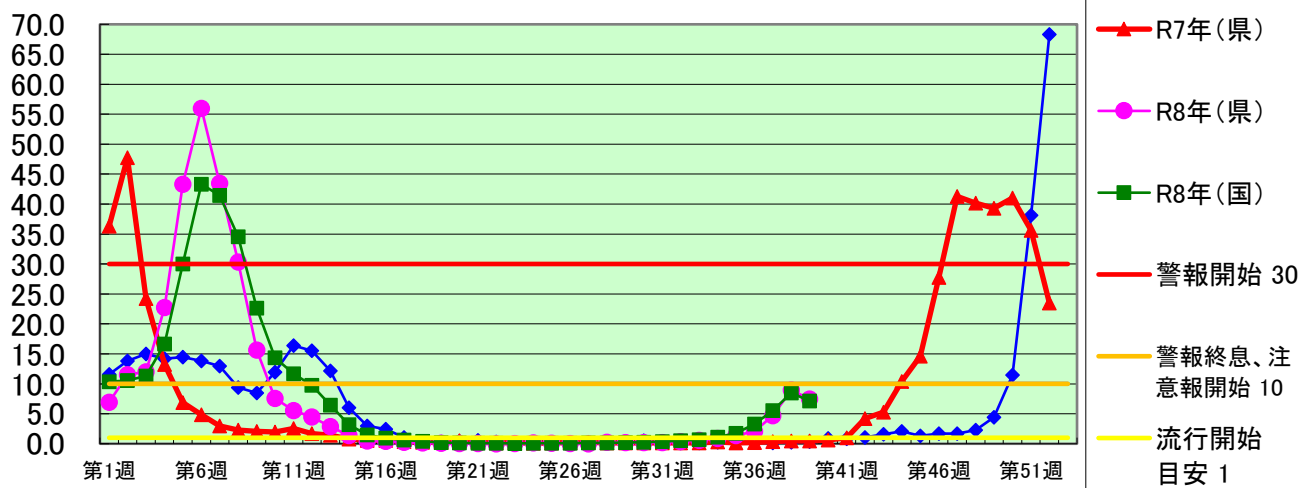
(定点当たり患者数)

流行性耳下腺炎



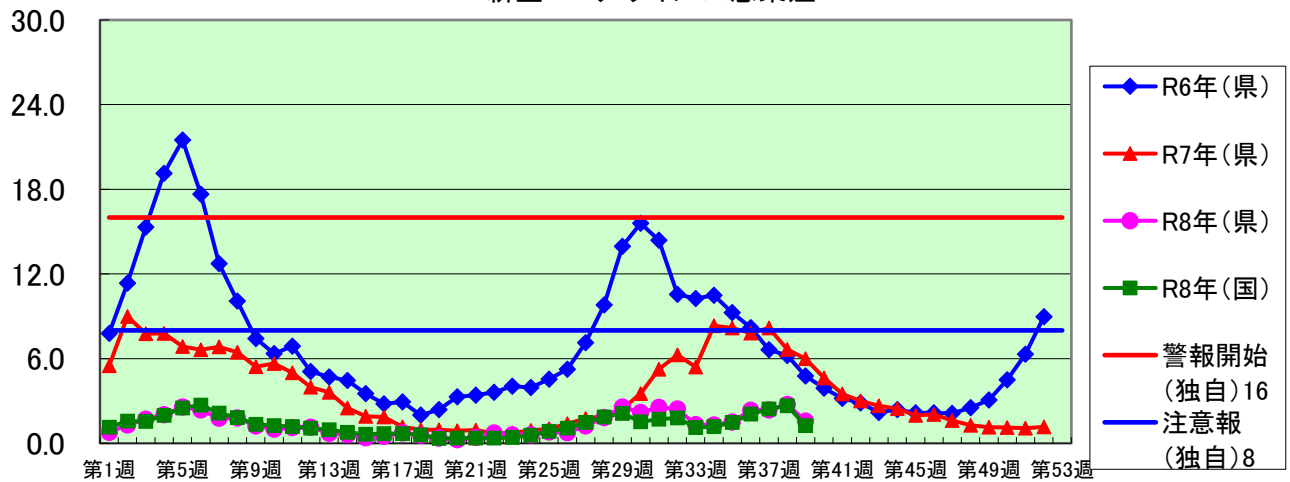
(定点当たり患者数)

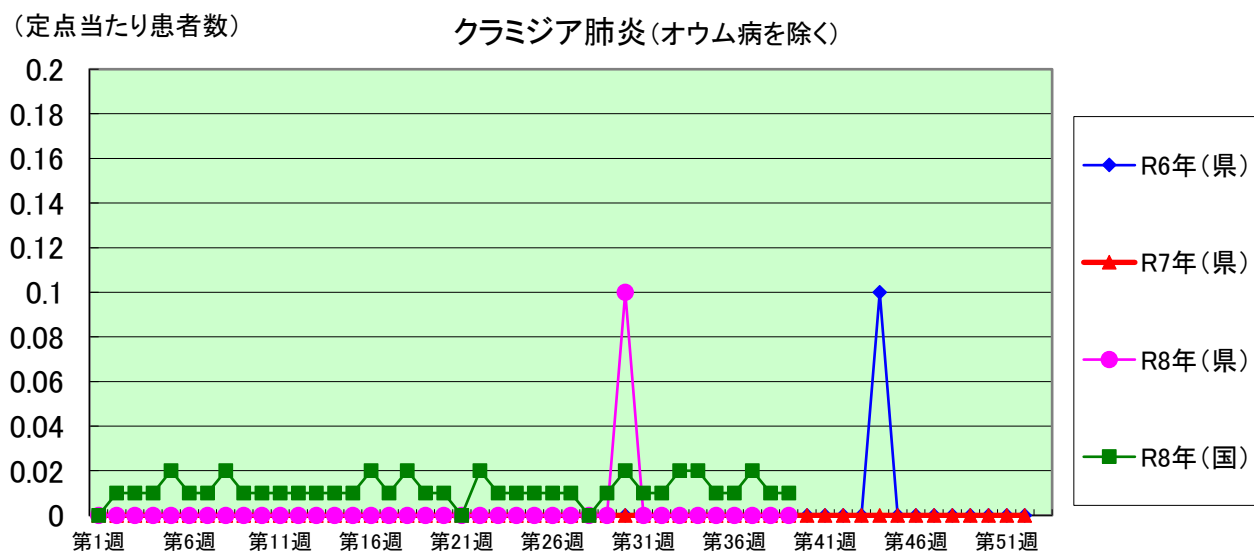
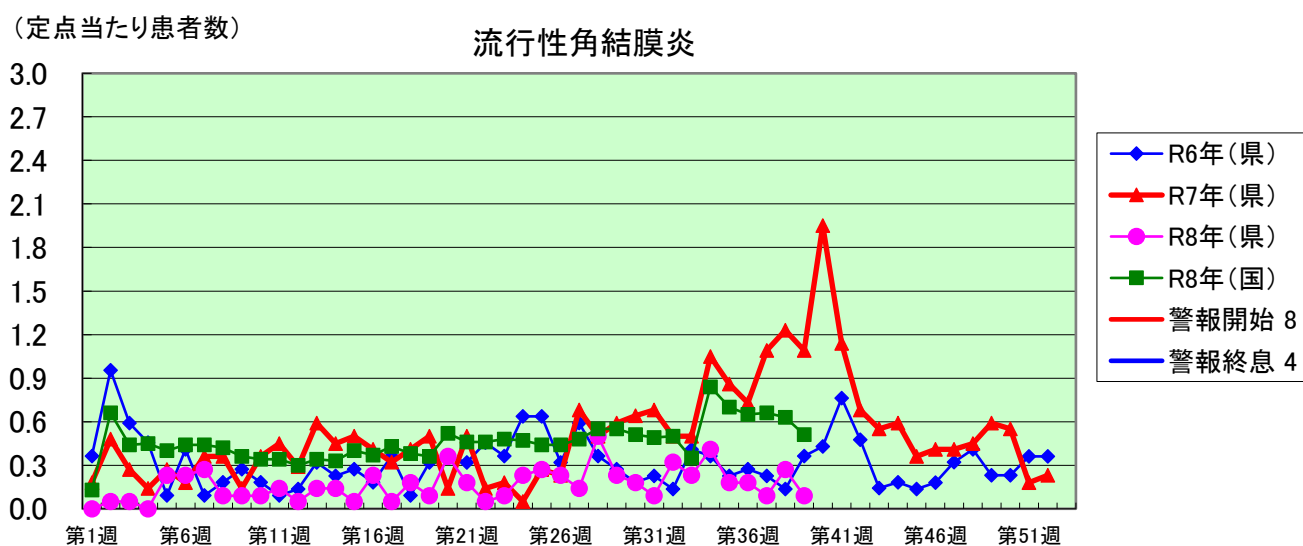
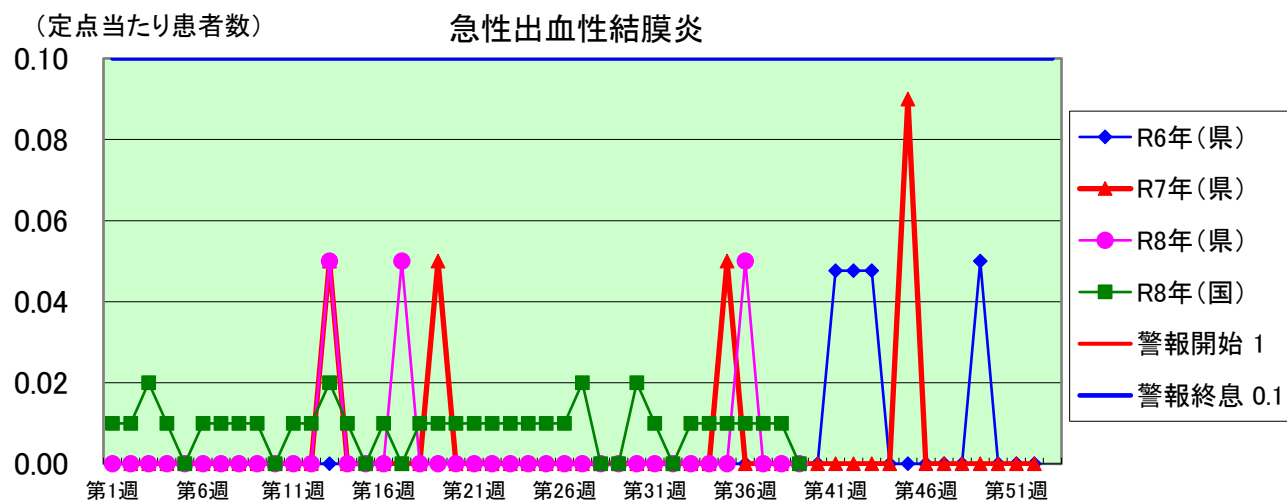
インフルエンザ



(定点当たり患者数)

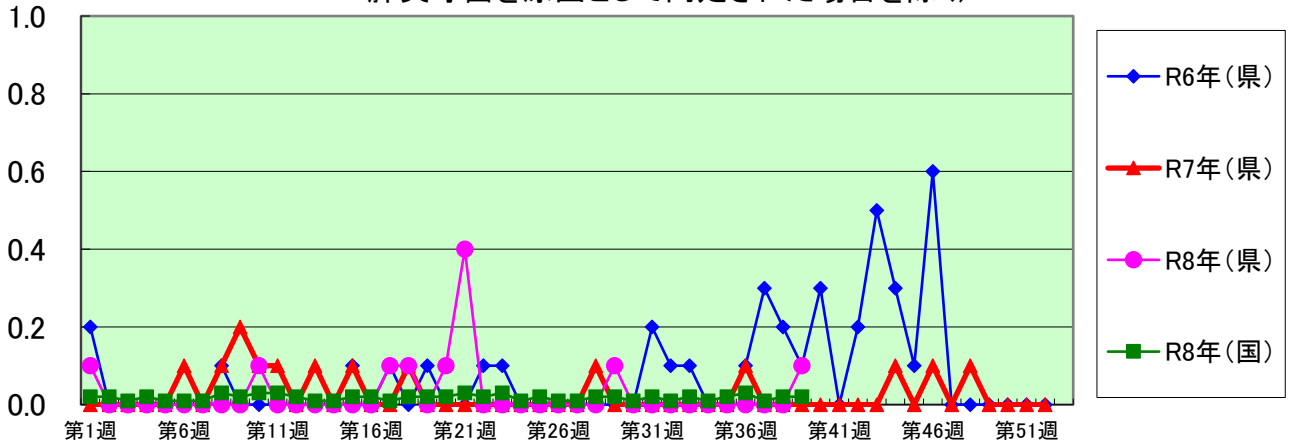
新型コロナウイルス感染症





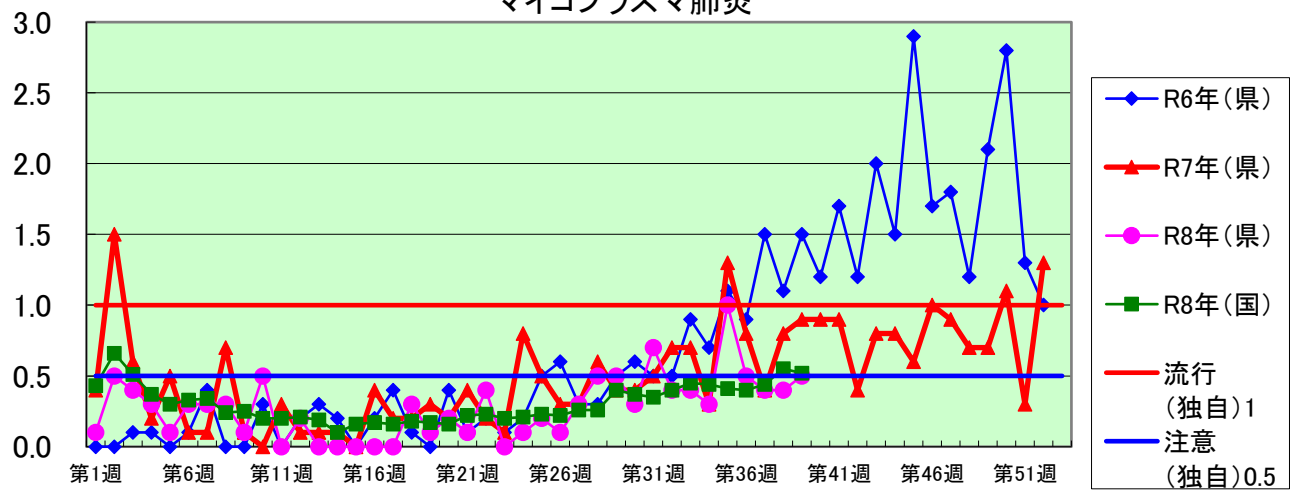
細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く）

（定点当たり患者数）



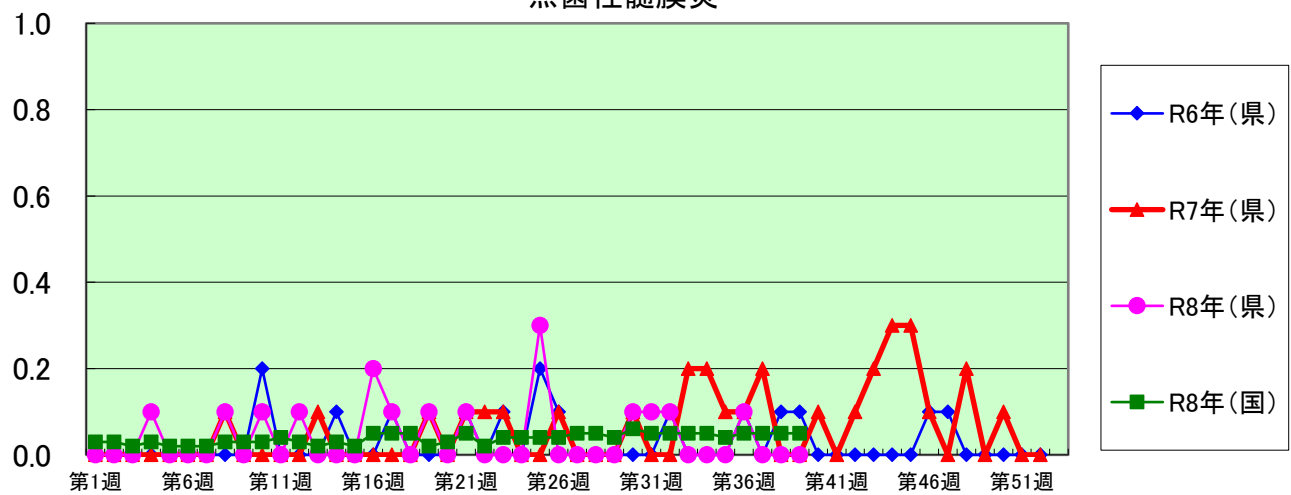
マイコプラズマ肺炎

（定点当たり患者数）



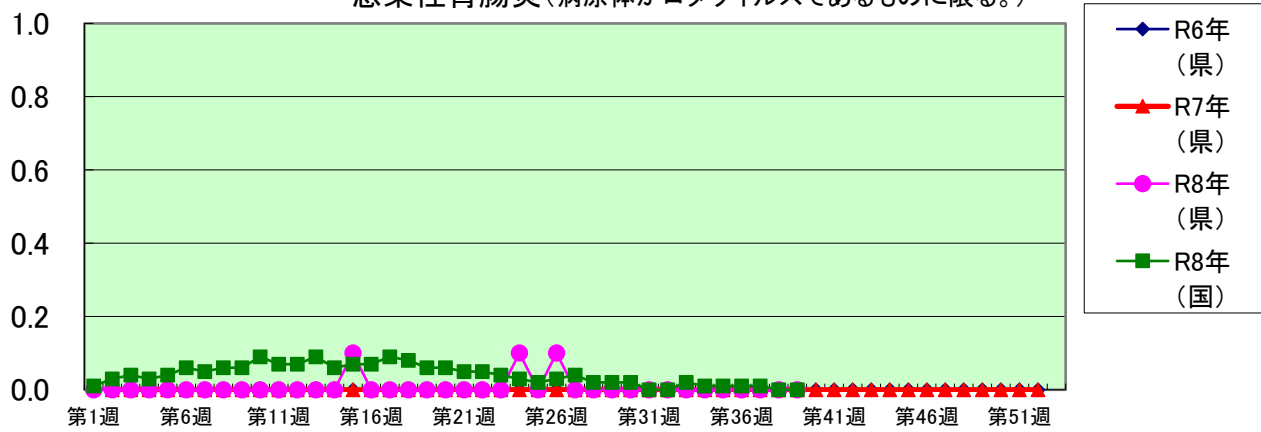
無菌性髄膜炎

（定点当たり患者数）



(定点当たり患者数)

感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)



定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2026年 8 月

	静岡県							全国				
	3月	4月	5月	6月	7月	今月	計	5月	6月	7月	今月	計
性器クラミジア感染症	38	32	43	44	36	51	244	2102	2344	2358	2132	8936
性器ヘルペスウイルス感染症	4	22	16	11	18	18	89	869	1016	1024	891	3800
尖圭コンジローマ	5	8	7	7	12	5	44	447	540	537	484	2008
淋菌感染症	9	11	7	10	10	12	59	615	607	655	602	2479
性器クラミジア感染症(男)	19	16	15	18	15	17	100	1072	1160	1167	1063	4462
性器クラミジア感染症(女)	19	16	28	26	21	34	144	1030	1184	1191	1069	4474
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	2	7	4	5	9	5	32	369	374	378	308	1429
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	2	15	12	6	9	13	57	500	642	646	583	2371
尖圭コンジローマ(男)	2	2	6	5	6	3	24	322	402	383	349	1456
尖圭コンジローマ(女)	3	6	1	2	6	2	20	125	138	154	135	552
淋菌感染症(男)	6	9	4	7	6	8	40	445	451	477	437	1810
淋菌感染症(女)	3	2	3	3	4	4	19	170	156	178	165	669
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	31	23	19	21	19	31	144	1132	1267	1271	1238	4908
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	28	34	39	28	129
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	-	-	-	-	1	-	-	-	1

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2026年 8 月

	静岡県						全国			
	3月	4月	5月	6月	7月	今月	5月	6月	7月	今月
性器クラミジア感染症	1.27	1.07	1.43	1.47	1.20	1.70	2.22	2.42	2.42	2.23
性器ヘルペスウイルス感染症	0.13	0.73	0.53	0.37	0.60	0.60	0.92	1.05	1.05	0.93
尖圭コンジローマ	0.17	0.27	0.23	0.23	0.40	0.17	0.47	0.56	0.55	0.51
淋菌感染症	0.30	0.37	0.23	0.33	0.33	0.40	0.65	0.63	0.67	0.63
性器クラミジア感染症(男)	0.63	0.53	0.50	0.60	0.50	0.57	1.13	1.20	1.20	1.11
性器クラミジア感染症(女)	0.63	0.53	0.93	0.87	0.70	1.13	1.09	1.22	1.22	1.12
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.07	0.23	0.13	0.17	0.30	0.17	0.39	0.39	0.39	0.32
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.07	0.50	0.40	0.20	0.30	0.43	0.53	0.66	0.66	0.61
尖圭コンジローマ(男)	0.07	0.07	0.20	0.17	0.20	0.10	0.34	0.41	0.39	0.37
尖圭コンジローマ(女)	0.10	0.20	0.03	0.07	0.20	0.07	0.13	0.14	0.16	0.14
淋菌感染症(男)	0.20	0.30	0.13	0.23	0.20	0.27	0.47	0.46	0.49	0.46
淋菌感染症(女)	0.10	0.07	0.10	0.10	0.13	0.13	0.18	0.16	0.18	0.17
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3.10	2.30	1.90	2.10	1.90	3.10	2.41	2.64	2.66	2.62
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0.00	0.00	0.00	－	－	－	0.06	0.07	0.08	0.06
薬剤耐性緑膿菌感染症	0.00	0.00	0.00	－	－	－	0.00	－	－	－

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

定点把握感染症(月報)保健所別集計表

2026年 8 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	51	1.70	18	0.60	5	0.17	12	0.40
賀茂	...	...	...	...	...	...	...	...
熱海	1	1	3	3	-	-	-	-
東部	1	0.2	1	0.2	-	-	-	-
御殿場	4	4	-	-	-	-	-	-
富士	7	2.33	5	1.67	1	0.33	-	-
静岡市	19	3.17	6	1	1	0.17	8	1.33
中部	3	0.75	1	0.25	2	0.5	-	-
西部	13	2.6	-	-	-	-	4	0.8
浜松市	3	0.6	2	0.4	1	0.2	-	-

保健所名	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	31	3.10	0	-	-	-
賀茂	6	6.00	-	-	0	0.00
熱海	6	6.00	-	-	0	0.00
東部	-	-	-	-	0	0.00
御殿場	...	...	...	...	0	0.00
富士	3	3.00	-	-	0	0.00
静岡市	12	6.00	-	-	0	0.00
中部	-	-	-	-	0	0.00
西部	3	3.00	-	-	0	0.00
浜松市	1	0.50	-	-	0	0.00

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

* 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。
 * 薬剤耐性緑膿菌感染症は、令和8年4月6日から全数把握の対象となりました。

8 月

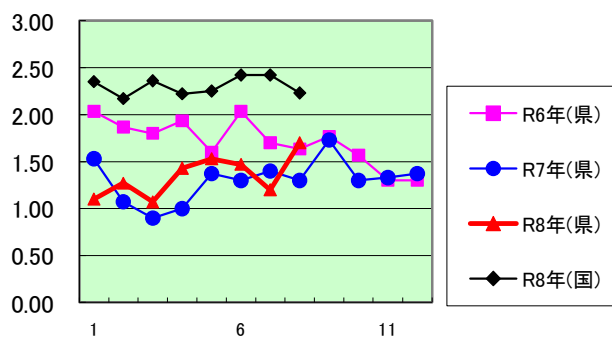
定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

8 月

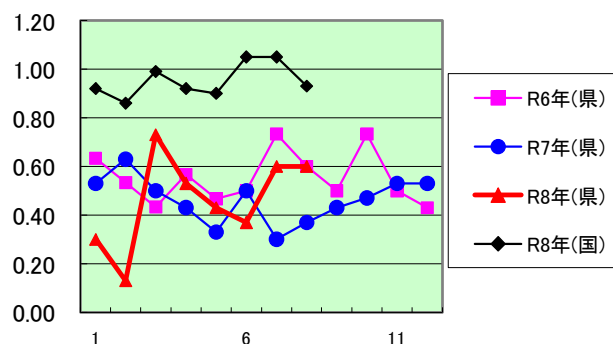
[illegible]

定点把握感染症(月報)推移グラフ

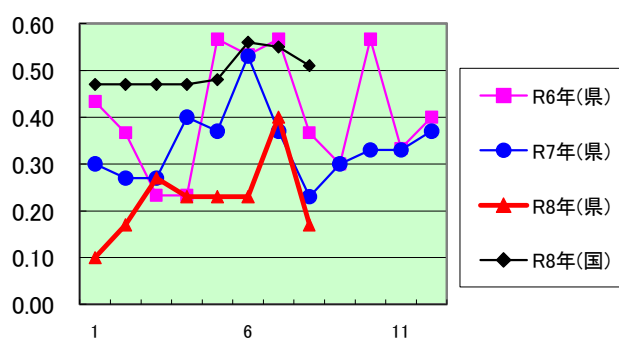
性器クラミジア感染症



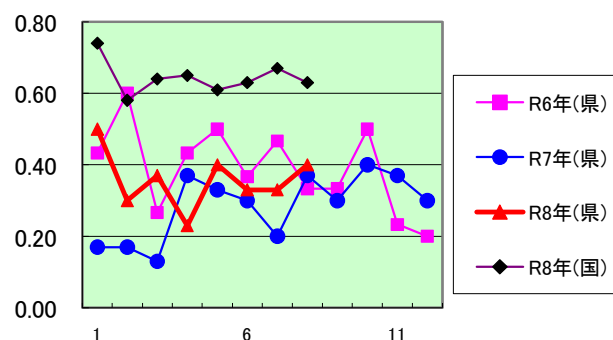
性器ヘルペスウイルス感染症



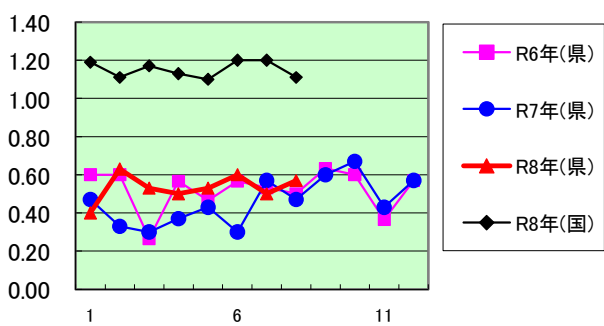
尖圭コンジローマ



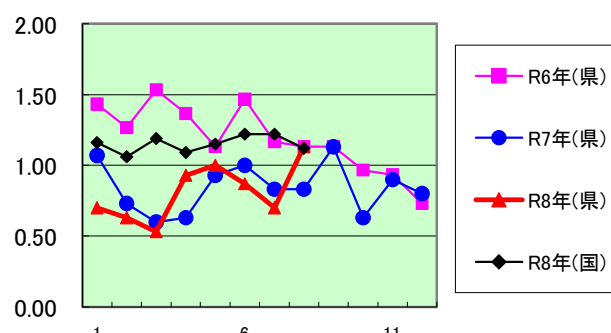
淋菌感染症



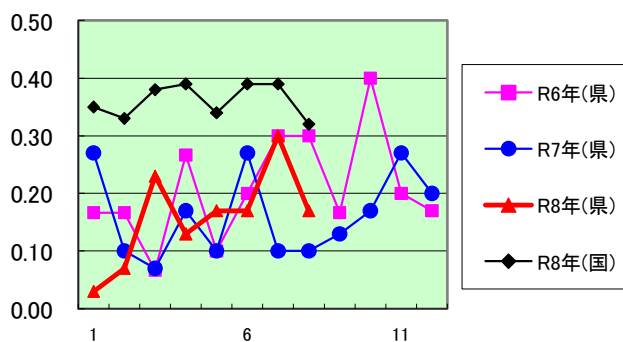
性器クラミジア感染症(男)



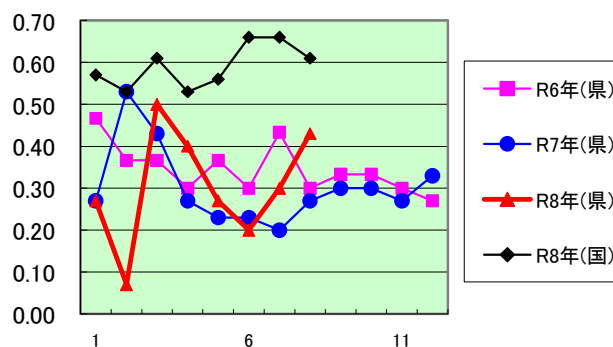
性器クラミジア感染症(女)



性器ヘルペスウイルス感染症(男)

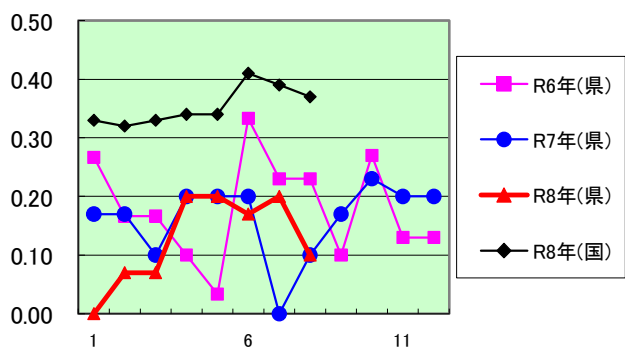


性器ヘルペスウイルス感染症(女)

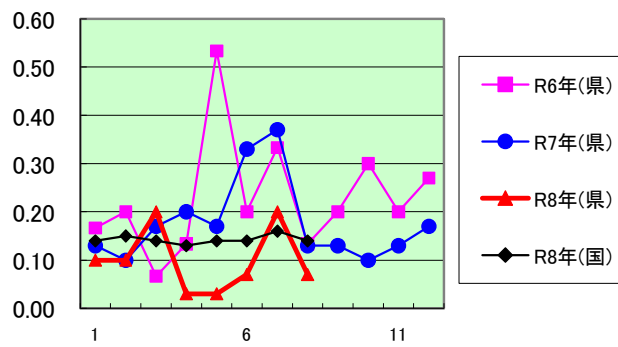


定点把握感染症(月報)推移グラフ

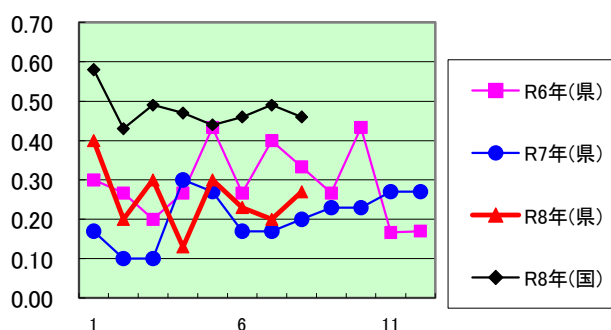
尖圭コンジローマ(男)



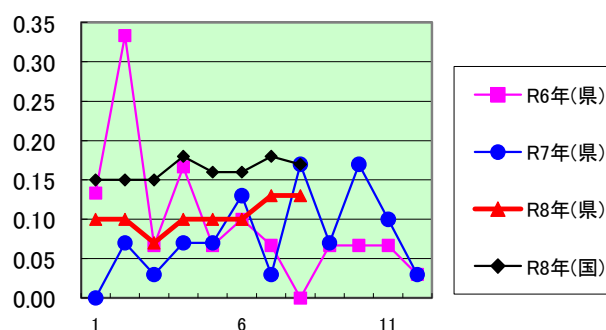
尖圭コンジローマ(女)



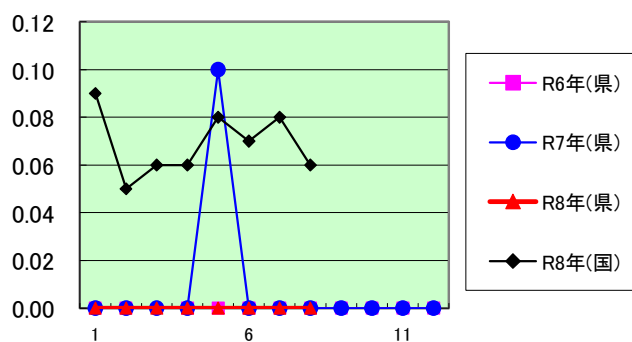
淋菌感染症(男)



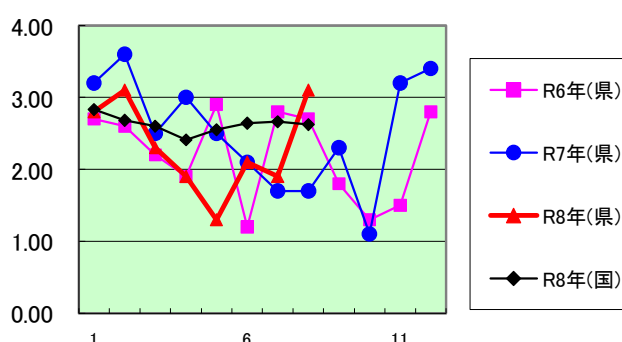
淋菌感染症(女)



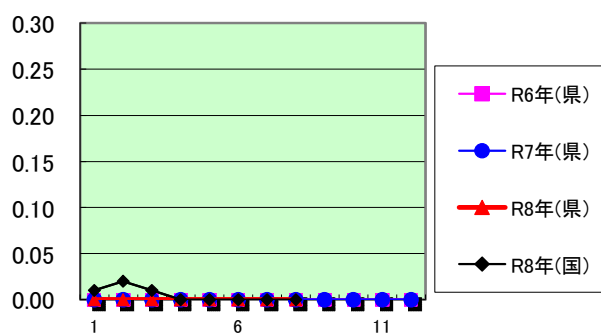
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



薬剤耐性緑膿菌感染症



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

インフルエンザ施設別発生状況(学級閉鎖)について

2026年

第39週

9/21 ~ 9/27

保:保育園 幼:幼稚園 小:小学校 中:中学校 高:高等学校
特支:特別支援学校 こ:こども園 高専:高等専門学校

[illegible]

インフルエンザ施設別発生状況(学級閉鎖)について

2026年

第39週

9/21

～ 9/27

保:保育園 幼:幼稚園 小:小学校 中:中学校 高:高等学校
 特支:特別支援学校 こ:こども園 高専:高等専門学校

市町	学級閉鎖があった 学校・園の施設種別	保	幼	小	中	高	特支	こ	高専	今週 合計	前週	今シーズン 合計
島田市	学校・園の数				1					1	1	3
	学校・園の患者数合計				22					22	8	41
焼津市	学校・園の数					1				1	2	4
	学校・園の患者数合計					16				16	18	48
藤枝市	学校・園の数				1					1	8	9
	学校・園の患者数合計				7					7	83	90
牧之原市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
吉田町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
川根本町	学校・園の数										1	1
	学校・園の患者数合計										6	6
磐田市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
掛川市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
袋井市	学校・園の数			1			1			2	0	3
	学校・園の患者数合計			20			6			26	0	39
湖西市	学校・園の数										1	2
	学校・園の患者数合計										3	8
御前崎市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
菊川市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
森町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
浜松市中央区	学校・園の数										4	6
	学校・園の患者数合計										32	51
浜松市浜名区	学校・園の数										2	2
	学校・園の患者数合計										50	50
浜松市天竜区	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
県内合計	学校・園の数			1	2	1	1			5	42	68
	学校・園の患者数合計			20	29	16	6			71	513	833
2026-2027 シーズン 施設別合計	学校・園の数	1	2	45	10	7	2	1				
	学校・園の患者数合計	15	17	456	244	73	8	20				

・引き続き、咳エチケット※、手洗い、換気等、基本的な感染対策をお願い致します。

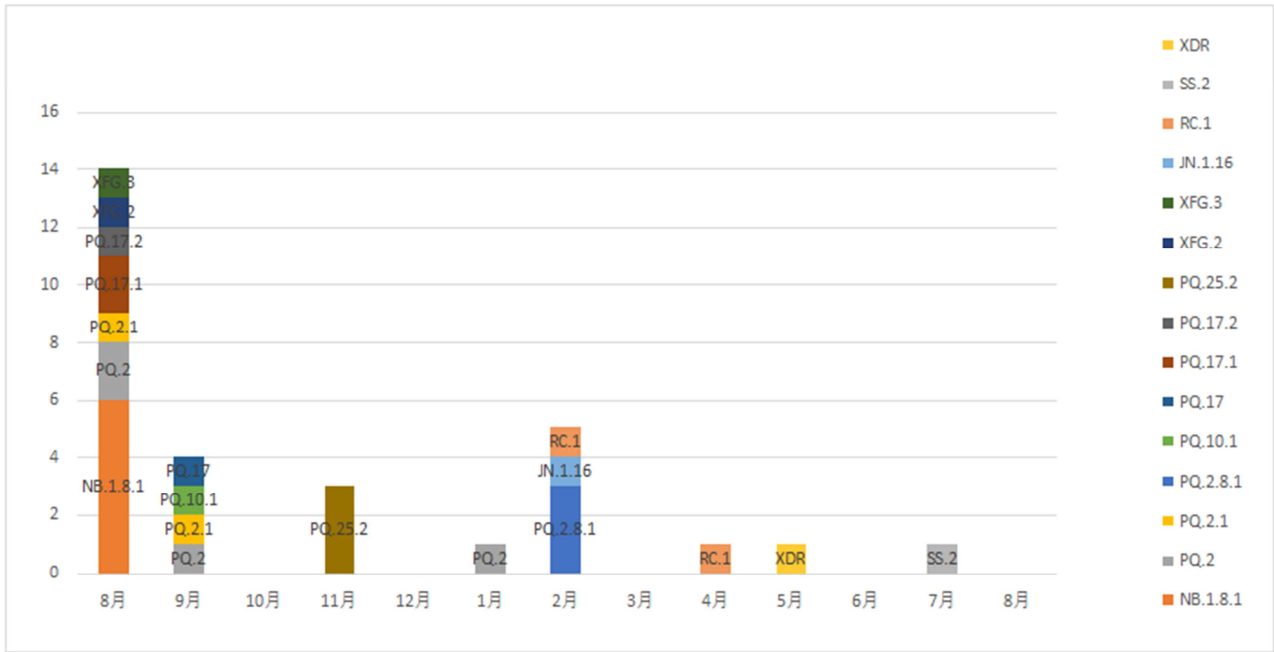
(※ 咳をするときに服のそでやハンカチで口鼻をおおう、マスクの適切な着用が可能なら咳の出るときはマスクを着ける)

・第36週から新シーズンとして集計しています。

新型コロナ変異株ゲノム解析結果について（月1回更新）
<変異株の件数> 8月24日（月）～9月20日（日）判明分（解析なし）
・なし

ゲノム解析結果の系統別判明（検体採取日集計）

系統名	2025					2026							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
解析不能													
NB.1.8.1	6												
PQ.2	2	1				1							
PQ.2.1	1	1											
PQ.2.8.1							3						
PQ.10.1		1											
PQ.17		1											
PQ.17.1	2												
PQ.17.2	1												
PQ.25.2				3									
XFG.2	1												
XFG.3	1												
JN.1.16							1						
RC.1							1		1				
SS.2												1	
XDR										1			
合計	14	4	0	3	0	1	5	0	1	1	0	1	0



（県内政令市実施分を含む）